



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成22年6月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成22年3月	平成22年6月	前回調査比
茨城県	41.8	46.0	+4.2
県北地域	40.2	46.1	+5.9
県央地域	42.4	47.0	+4.6
鹿行地域	38.4	45.5	+7.1
県南地域	44.4	45.5	+1.1
県西地域	43.6	45.8	+2.2

《景気の先行き判断DI》

	平成22年3月	平成22年6月	前回調査比
茨城県	44.0	48.4	+4.4
県北地域	40.2	46.6	+6.4
県央地域	47.0	49.1	+2.1
鹿行地域	43.1	47.3	+4.2
県南地域	45.4	49.5	+4.1
県西地域	44.1	50.0	+5.9

平成22年7月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県内全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。

※平成22年6月1日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	38	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業		17	16	17	18	19	87
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成22年6月調査の調査期間は平成22年6月1日から平成22年6月30日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは46.0となった。3月調査分より4.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

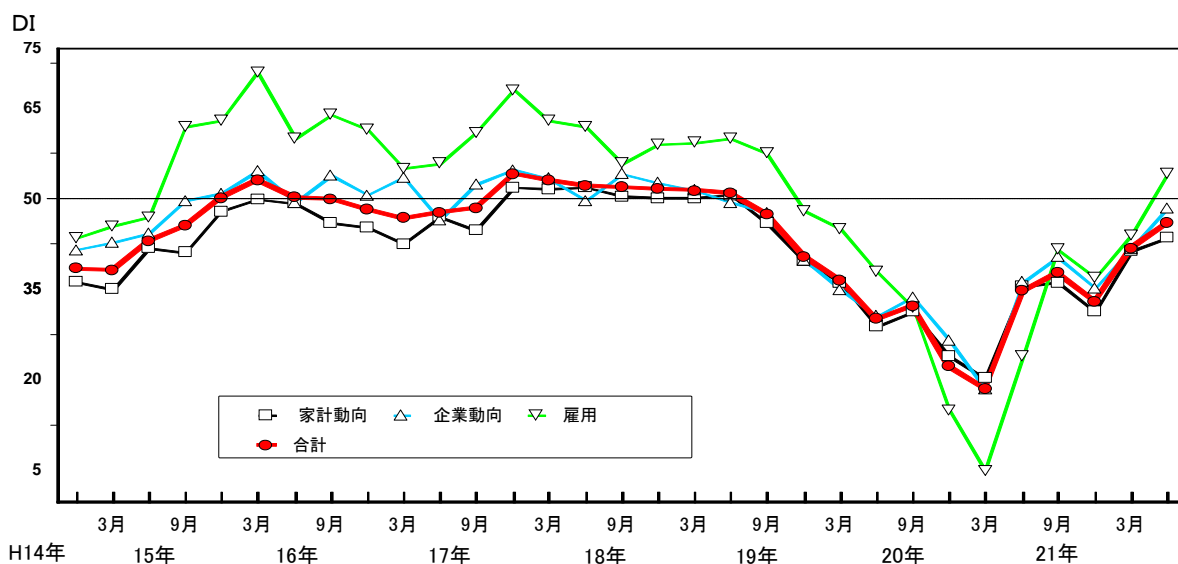
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月
合計		34.8	37.8	33.0	41.8	46.0
家計動向関連		35.6	36.1	31.4	41.4	43.6
小売関連		38.5	35.8	27.0	38.0	44.0
飲食関連		31.6	36.3	33.8	42.5	47.2
サービス関連		33.8	35.3	33.3	42.7	41.2
住宅関連		36.1	44.4	44.4	55.6	52.8
企業動向関連		36.3	40.5	35.2	41.8	48.5
農林水産業		37.5	46.9	40.6	43.8	46.4
製造業		35.6	40.8	39.1	41.8	48.3
非製造業		37.1	38.3	27.6	41.1	49.2
雇用関連		24.0	41.7	37.0	44.0	54.2

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	1.7%	8.7%	36.3%	33.6%	19.7%
平成21年 9月	0.7%	8.2%	47.8%	28.2%	15.1%
平成21年 12月	1.0%	6.2%	38.1%	32.9%	21.8%
平成22年 3月	1.8%	9.6%	52.1%	27.0%	9.6%
平成22年 6月	1.5%	19.0%	50.4%	20.4%	8.8%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは48.4となった。3月調査分より4.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

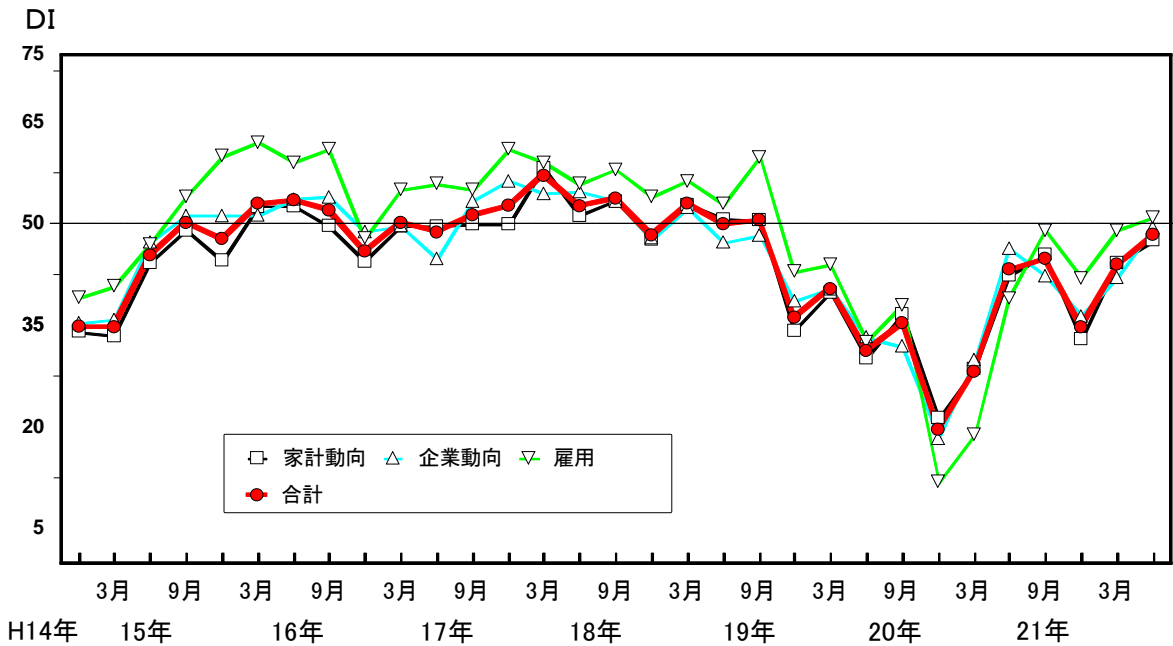
表1 - 3 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月
合計	43.3	44.8	34.8	44.0	48.4
家計動向関連	42.4	45.5	33.0	44.2	47.6
小売関連	44.4	43.2	34.5	43.3	48.1
飲食関連	43.4	51.3	27.5	47.5	51.4
サービス関連	40.3	45.6	30.8	43.4	45.3
住宅関連	41.7	50.0	52.8	50.0	55.6
企業動向関連	46.4	42.3	36.4	42.1	49.4
農林水産業	59.4	53.1	40.6	43.8	57.1
製造業	43.9	39.7	37.5	40.2	47.8
非製造業	46.8	43.3	33.6	44.4	50.0
雇用関連	39.0	49.0	42.0	49.0	51.0

表1 - 4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	1.4%	15.6%	49.1%	22.5%	11.4%
平成21年 9月	0.7%	14.4%	57.4%	18.6%	8.9%
平成21年 12月	1.0%	6.2%	42.9%	30.4%	19.4%
平成22年 3月	0.4%	12.1%	58.2%	22.0%	7.4%
平成22年 6月	0.7%	19.3%	57.3%	18.2%	4.4%

図1 - 2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは46.1となった。3月調査分より5.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		32.6	35.4	39.0	40.2	46.1
家計動向関連		31.9	31.8	37.5	39.4	45.0
企業動向関連		36.1	41.7	44.4	40.3	44.4
雇用関連		25.0	40.0	30.0	45.0	60.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	1.7%	8.5%	32.2%	33.9%	23.7%
平成21年 9月	0.0%	10.0%	40.0%	31.7%	18.3%
平成21年 12月	3.4%	10.2%	35.6%	40.7%	10.2%
平成22年 3月	3.6%	3.6%	53.6%	28.6%	10.7%
平成22年 6月	1.7%	24.1%	44.8%	15.5%	13.8%

県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは47.0となった。3月調査分より4.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		30.3	37.3	33.9	42.4	47.0
家計動向関連		36.1	37.5	35.5	44.1	44.6
企業動向関連		25.0	35.9	25.0	40.6	53.1
雇用関連		5.0	40.0	50.0	35.0	45.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	0.0%	5.3%	35.1%	35.1%	24.6%
平成21年 9月	0.0%	6.8%	47.5%	33.9%	11.9%
平成21年 12月	0.0%	6.8%	45.8%	23.7%	23.7%
平成22年 3月	1.7%	10.2%	50.8%	30.5%	6.8%
平成22年 6月	3.4%	20.7%	44.8%	22.4%	8.6%

鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは45.5となった。3月調査分より7.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表2 - 5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		33.2	36.8	28.1	38.4	45.5
家計動向関連		31.8	36.5	24.3	38.5	42.1
企業動向関連		37.5	36.7	38.3	35.9	50.0
雇用関連		30.0	40.0	25.0	45.0	55.0

表2 - 6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	0.0%	8.6%	34.5%	37.9%	19.0%
平成21年 9月	0.0%	7.0%	50.9%	24.6%	17.5%
平成21年 12月	0.0%	7.0%	28.1%	35.1%	29.8%
平成22年 3月	0.0%	12.1%	44.8%	27.6%	15.5%
平成22年 6月	0.0%	20.0%	50.9%	20.0%	9.1%

県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは45.5となった。3月調査分より1.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表2 - 7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		42.1	40.2	34.6	44.4	45.5
家計動向関連		42.4	37.1	33.6	39.8	42.5
企業動向関連		42.2	45.3	35.3	50.0	48.4
雇用関連		40.0	45.0	40.0	55.0	56.3

表2 - 8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	1.8%	12.3%	47.4%	29.8%	8.8%
平成21年 9月	1.8%	5.4%	57.1%	23.2%	12.5%
平成21年 12月	1.8%	5.3%	36.8%	42.1%	14.0%
平成22年 3月	1.9%	7.4%	63.0%	22.2%	5.6%
平成22年 6月	2.0%	12.0%	56.0%	26.0%	4.0%

県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは45.8となった。3月調査分より2.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

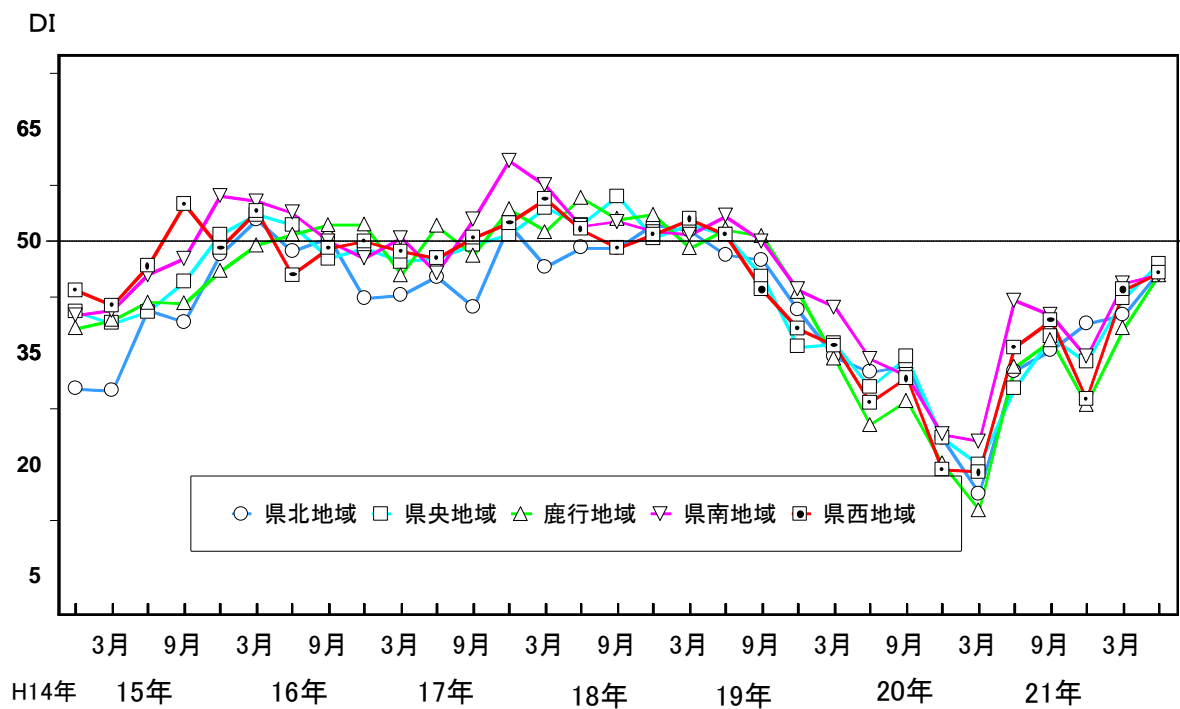
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月
合計		35.8	39.4	28.9	43.6	45.8
家計動向関連		35.7	37.5	25.7	45.3	43.5
企業動向関連		40.3	42.1	32.4	41.7	47.1
雇用関連		20.0	43.8	40.0	40.0	55.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	5.2%	8.6%	32.8%	31.0%	22.4%
平成21年 9月	1.7%	11.9%	44.1%	27.1%	15.3%
平成21年12月	0.0%	1.8%	43.9%	22.8%	31.6%
平成22年 3月	1.8%	14.5%	49.1%	25.5%	9.1%
平成22年 6月	0.0%	17.0%	56.6%	18.9%	7.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.6となった。3月調査分より6.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		41.5	44.6	35.6	40.2	46.6
	家計動向関連	38.2	43.2	35.4	39.4	45.0
	企業動向関連	52.8	45.8	37.5	40.3	47.2
	雇用関連	25.0	50.0	30.0	45.0	55.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	1.7%	15.3%	47.5%	18.6%	16.9%
平成21年 9月	1.7%	10.0%	61.7%	18.3%	8.3%
平成21年 12月	1.7%	6.8%	39.0%	37.3%	15.3%
平成22年 3月	0.0%	8.9%	53.6%	26.8%	10.7%
平成22年 6月	1.7%	17.2%	51.7%	24.1%	5.2%

県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは49.1となった。3月調査分より2.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		41.2	41.9	37.7	47.0	49.1
	家計動向関連	46.5	42.8	38.2	48.7	50.0
	企業動向関連	35.9	39.1	37.5	48.4	50.0
	雇用関連	20.0	45.0	35.0	30.0	40.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	0.0%	10.5%	56.1%	21.1%	12.3%
平成21年 9月	0.0%	13.6%	50.8%	25.4%	10.2%
平成21年 12月	1.7%	1.7%	55.9%	27.1%	13.6%
平成22年 3月	0.0%	16.9%	59.3%	18.6%	5.1%
平成22年 6月	0.0%	24.1%	55.2%	13.8%	6.9%

鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは47.3となった。3月調査分より4.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表2 - 15 景気の先行き判断D I

分野	調査月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月
合計		42.7	44.7	36.8	43.1	47.3
	家計動向関連	38.5	43.9	30.4	41.9	46.4
	企業動向関連	50.0	45.0	48.3	43.8	45.0
	雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	60.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	1.7%	15.5%	46.6%	24.1%	12.1%
平成21年 9月	0.0%	17.5%	54.4%	17.5%	10.5%
平成21年 12月	0.0%	10.5%	45.6%	24.6%	19.3%
平成22年 3月	0.0%	12.1%	58.6%	19.0%	10.3%
平成22年 6月	0.0%	16.4%	61.8%	16.4%	5.5%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは49.5となった。3月調査分より4.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表2 - 17 景気の先行き判断D I

分野	調査月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月
合計		44.7	45.1	33.8	45.4	49.5
	家計動向関連	41.7	45.7	33.6	43.0	49.2
	企業動向関連	48.4	42.2	30.9	44.1	50.0
	雇用関連	55.0	50.0	45.0	65.0	50.0

表2 - 18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	1.8%	15.8%	45.6%	33.3%	3.5%
平成21年 9月	0.0%	14.3%	58.9%	19.6%	7.1%
平成21年 12月	1.8%	5.3%	38.6%	35.1%	19.3%
平成22年 3月	1.9%	11.1%	61.1%	18.5%	7.4%
平成22年 6月	2.0%	16.0%	62.0%	18.0%	2.0%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは50.0となった。3月調査分より5.9ポイント上昇し、横ばいを表す50に13期ぶりになった。

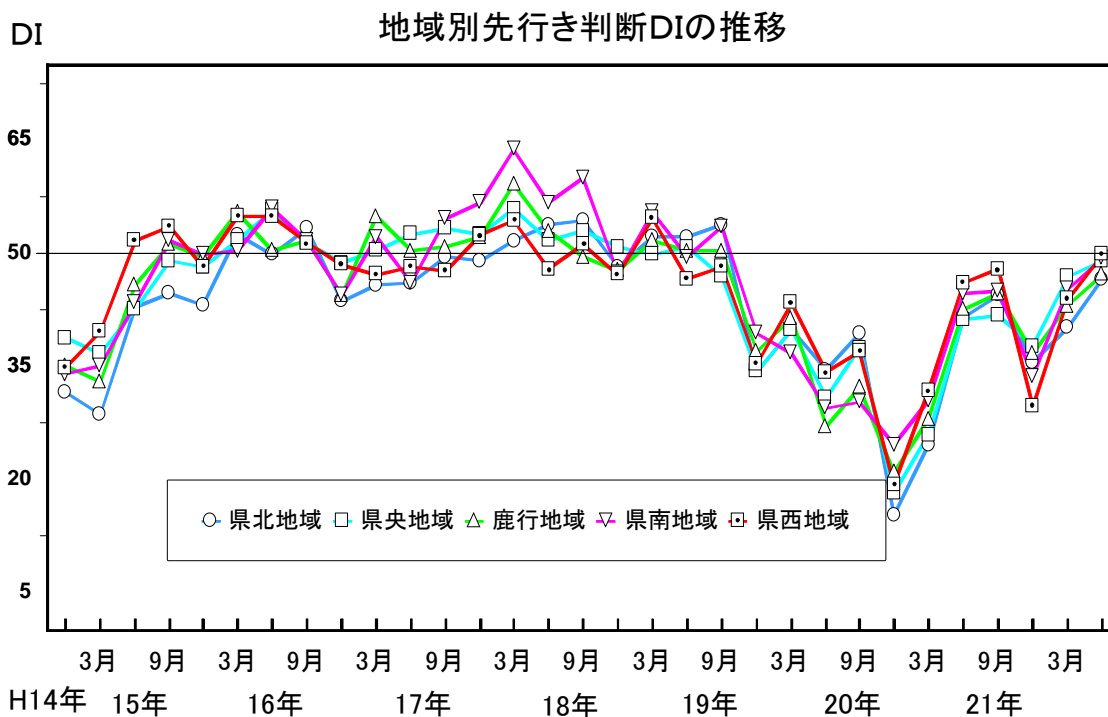
表2 - 19 景気の先行き判断D I

分野	調査月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月
合計		46.1	47.9	29.8	44.1	50.0
	家計動向関連	47.1	52.1	27.1	47.7	47.6
	企業動向関連	44.4	39.5	29.4	34.7	54.4
	雇用関連	45.0	50.0	50.0	55.0	50.0

表2 - 20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成 21 年 6 月	1.7%	20.7%	50.0%	15.5%	12.1%
平成 21 年 9 月	1.7%	16.9%	61.0%	11.9%	8.5%
平成 21 年 12 月	0.0%	7.0%	35.1%	28.1%	29.8%
平成 22 年 3 月	0.0%	10.9%	58.2%	27.3%	3.6%
平成 22 年 6 月	0.0%	22.6%	56.6%	18.9%	1.9%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	274 人	91.3%
県北地域	60 人	58 人	96.7%
県央地域	60 人	58 人	96.7%
鹿行地域	60 人	55 人	91.7%
県南地域	60 人	50 人	83.3%
県西地域	60 人	53 人	88.3%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業（電気機械器具）	製品の生産量が増加してきているため。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	客単価は厳しい状況が続いているが、客数や来店頻度が徐々に戻りつつあり、消費心理は活発化されてきている。全体的な客単価は割れているが、単価の高い商品であっても目新しい商品は売れている。	
		コンビニエンスストア	担当エリアにおいては、客単価割れは継続しているものの改善傾向にあり、客数については前年を上回ってきているため。	
		スナック	売上や来客数が多少ではありますが増えているので、そう思います。	
		観光型ホテル	6月になり暑くなってきたせいなのか、食事処の集客が少し上向きです。	
		タクシー運転手	1日の売上げが、約3000円ほど上がったため。	
		タクシー運転手	人の動きも、やや良くなったと思うから。	
		レジャー施設	昨年同期比の団体予約状況の伸び率が、3ヶ月前より伸びている為。	
	企業	水産業関係者	水産業にあつては、巻き網船にあつては不漁、底曳船にあつては魚価安の影響により不漁。小型曳網船では、年初めよりオキアミ、小女子、シラス等が続いて豊漁の年を迎えています。総体的には、やや良くなっています。	
		製造業（精密機械）	注文ロットが増えている。	
		製造業（電気機械器具）	今月は各取引先からの発注量が若干増加したことにより、目先は3ヶ月前と比較してやや良い状況となっている。ただし今後の受注状況から判断すると、単月に留まる見通しである。	
		製造業（輸送用機械器具）	国内エコカー税制の半年延長、中国販売好調等に支えられ作業量は回復基調にあり残業も定期的に増加し景気上向きを感じる。	
		運輸業	貨物量はだんだん増えてきているように見えます。国道6号、50号、51号、245号線を走っていてもトラックが増えてきているように感じます。ただわが社に関して言えば3ヶ月前とは荷扱い量は増えていません。	
	雇用	求人広告	観光地はこの時期は忙しいとの事。レジャー等は景気は関係しないのだろうか！？	
		公共職業安定所	新規求職者については、昨年12月より対前年と比較して減少傾向にあり、新規求人数については、今年2月より対前年と比較して増加傾向に転じている。また、雇用保険受給者（実人員）は、今年3月から対前年と比較して減少傾向にあることから見て、明るい材料が見られる。	
		学校就業関係者	学院生の求人の数が去年より、少し増えている感じがみられるので、良くなっているみたいである。	
	変わらない	家計	スーパー	客数・客単価が変わらない。
			スーパー	季節の商品より常に使用する商品に対する価格に敏感。ここ1年変わらない。
			衣料品販売店	日常生活、買物にこれといった動きはない。
金物・荒物・建築資材			売上は、いつもの年、月とほとんど同じだから。	
自動車販売店			補助金に対して延長があり、かけ込み需要を期待していたが、あまり大きな伸びはなかった。	
小売業（燃料）			売上高ほぼ横ばい。収益率横ばい。	
小売業（酒店）			相変わらず明るい見通しなく、低水準にて推移。	
小売業（靴製品）			売上が横ばい又は下降。	
レストラン			お客様の声と、自分でもそう思うので。	
観光型ホテル			宿泊、日帰り利用共、前年同期とほぼ同じ状況であり、売上げも横ばいである。	
旅行代理店			商品の購入単価が上がらない。	
タクシー運転手			天候等の影響がある（寒い日が続いた）。	
タクシー運転手			3ヶ月前の売上と、ほとんど変わらない。	
ドライブイン			購買欲が薄い。客単価・客数も去年と比較すると下降気味。天候には恵まれているが。	
ゴルフ場			前年に比べ利用人数は増加しているものの、それに比例して売上は伸びてこない。細かな所の出費を消費者が抑えている傾向が強い。	
ゴルフ場		来場者数は、前年同期比でやや減の状況。天候（予報）に大きく左右される為、一概に景気判断は出来ない面があるが、景気回復には至っていない。		
住宅販売会社		ふんざりがつかないお客様が依然多い。		
企業		林業関係者	市場価格に大きな変動はないが、材が流通しているので変わらない。	
	製造業（電気機械器具）	作業量が横這いである事と、受注案件はあるものの、目立った受注が無い。		
	製造業（電気機械器具）	1週間前に工業部会の総会をやり、約25社位が集まりましたが特に景気の良くなった話はない。悪い話ばかりです。		
	製造業（電気機械器具）	3ヶ月前と変わらない悪いままの生産数である。		
	情報通信業（情報サービス業）	相変わらず商談が少ない。当面変化は無いと思われる。		

	不動産業	住宅販売会においても新規来場が相変わらず増えない。来場者自身も様子見が多い。	
	雇用 求人開拓員	家電品製造メーカーの求人が増加してきたが、まだまだ本格的な上昇とは思えない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	毎日の売り上げ、客数が減っている！
		小売業（水産物）	集客数の減少。
		居酒屋	客単価が悪い。
		和食食堂	今月は低価格の店が多く出店したせいか、昼のランチ時客が減っている。
		ゴルフ場	1：来場者の計画達成率が3～5月で100、93、108と凹状況 2：4月は異常天候と低料金攻勢に遭遇し、売上83%と厳しい。
		クリーニング店	客単価が減少している。
	企業	製造業（一般機械器具）	昨年同時期に比べるとやや低調な作業量であり、3ヶ月前からすると微減している。
		金融業	中小企業の業績が更に悪化しており、融資条件変更の申し込みが増加傾向にある。それに伴い、資金の円滑が図られていると思われ、運転資金の申し込みが減少傾向にある。また、景気対応緊急融資の利用が一巡し、利用枠の問題から、対応が困難なケースも発生している。設備投資についても控えている企業が多く、需要が無い状況。
	雇用 運輸附带サービス業	(1) 公共事業（市・町単位レベル）、建築産業の動向が依然として好機に向いていない事より、作業量は維持できても、受注金額の低下傾向が目立ってきている。 (2) 期初（4～6月）は年間を通して、民家案件も含めて受注が低下する。	
	悪くなっている	家計	商店街代表者
商店街代表者			年度末の3月から4月、5月の売上げが昨年対比50～60%で動いている。
観光型ホテル			新緑の観光シーズンの為、期待していたが思いの外客足が伸びなかった。
ボウリング場			客単価が減っている（1人のゲーム数が減少している）。ゴールデンウィークの売上が悪かったため。
企業		製造業（製缶）	作業量が減少している。他社では、週末に帰休を出している所もある。
		製造業（電気機械器具）	3ヶ月前及び前年と比較して受注量が減少している。景気回復の兆しが見えない。
		製造業（電気機械器具）	受注額が減少しており、予算達成が困難である。
		建設業	今月は例年仕事が少なくなる時期ではあるが、今年は著しく低調である。

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業(精密機械器具)	3月末受注と5月末受注を比較しますと、27%のアップであり、今の引き合い状況を考慮すると6月も堅調な受注を達成するものと推察致します。	
		サービス業(コンサルタント業)	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、3ヶ月前よりも確実に良くなっている。特に、ゴールデンウィークは日程や天候に恵まれたため過去最高の売上をあげたお店もあった。	
やや良くなっている	家計	百貨店、総合スーパー	以前は単価の低いものをまとめ買いするお客様が多かったが、最近はセール以外のものを選んで購入するお客様が目立つようになってきたと思う。	
		コンビニエンスストア	・売上最悪期の1月・2月と比較して、お客様の購入されている商品の単価が上がって来ている。 ・求人募集をかけても人材が集まらない→他業態での募集も増えて来て競争が大きくなっている。	
		家電販売店	エコポイントの影響もあるかと思いますが5月頃から薄型テレビの動きが良くなってきている。	
		自動車販売店	製造業のお客様は後半に向けて注文が多くなってきている様です。自動車部品関係の仕事も増え、一部には休日対応しているとの事です。販売の方も小型車、ハイブリッド車を中心に受注も伸びている現状です。	
		専門スーパー	3ヶ月前より客数があがっている為。	
		都市型ホテル	少しずつではありますが、会合を見合わせていた企業も実施するようになってきております。	
		観光型ホテル	団体の予約が堅調。個人もそれなりに集客できている。	
	企業	農業関係者	気候が安定し、野菜等の価格変動が落ち着いてきた。	
		製造業(金属製品)	案件数は依然低調なままだが、以前からの計画案件(様子見)のうち具体的に動き出したものがある。	
		塗装業	見積もり依頼が増えた(然し単価が厳しく、なかなか受注に繋がらないのが現実ではあるが)。1～3月は特に厳しかった。	
		情報通信業(情報サービス業)	設備投資面において、前向き検討の様子は散見されるが、まだ慎重姿勢から脱してはいない。また、新年度を迎えて間もない顧客は、まだ市場における動きが鈍く、これからと考える。現在の商談発生は、3ヶ月前と同様少なく苦慮しているが、徐々に動きは出て来ており、景気はやや持ち直しの傾向にあると判断した。	
	雇用	学校就業関係者	街やショッピングの場で、「不景気」「不景気」という言葉を以前より聞かれなくなっている。	
	変わらない	家計	商店街代表者	これと違って目立った変化はみられない。
			商店街代表者	今年の3月4月は天候が不順で、寒い日が多く雨の日も多いため人通りも少なく来店客は減少しました。天候が不順であると、お客様は歩いて買い回りをしなくなり商店街は打撃を受けてしまいました。
百貨店、総合スーパー			今月は、カード会員様向けの「優待会」を開催し、3ヶ月前と比べて売上高が増加した。しかし、売上高の前年比で比べると、今月と同等なので景気はあまり変わっていないと思われる。	
スーパー			昨年以降デフレ状況が続いている。改善傾向があると言われていたが、消費者よりはまだ感じられない。	
スーパー			利用点数には大きな変化はないが、1点当たりの単価は下がっている。	
スーパー			売上高 前年との比較で変わらない状況。	
農産物直売所			メロンのギフトシーズンになっているが、産地や品種より価格の安いメロンから売れている。	
専門スーパー			例年と比べ 気温が高くなく、夏物などの動向も良くない。建築資材、農業資材なども一定の動きで特に良いとは思えない。ただ、以前程のデフレ傾向は落ち着いて来たように思える。	
レストラン			総会の時期ですが、懇親会は行わない等、全体で縮小傾向の感じがある。レストランの利用状況でも予約は例年より少ない。	
レストラン			客単価の減少は続いている。	
旅行代理店			4～6月の前年比96%で推移しております。昨年はインフルエンザ影響で2008年を大幅前年割れであった。したがって本年は昨年を大きくクリアしなければならないはず・・・。	
タクシー運転手			水戸駅構内でお客様を待っていると3時間位かかる事もある。営業回数が出来ない。集客数も減っている。	
レジャー施設			経済的な理由で、施設利用を廃止したり、新規利用が急増することもないため。	
レジャー施設			入場者は減少しているが、天候の影響が大きいと思われるので景気自体は変わらないと思う。	
理・美容店			一部は景気が上向きになり、良くなる事に願います。	
建築設計事務所			公共事業の低入札化が目立つ、全体に仕事が薄い状況が続いている感じた。	
住宅販売会社			厳しい状況であることは変わらないが、底は見えた感じがする。	
	製造業(食料品)	当業界は個人消費に頼っているため、消費者がバラで購入し最小限に抑えているので、景気は今ひとつである。		

企業	製造業(食料品)	消費動向の好転はみられない。	
	製造業(一般機械器具)	当社としては変わらない。取引先の中にはやや良くなっているが多少出て来ました。特に建設機械関連。	
	金融業	全体的な景気の雰囲気は右肩上がりとはまではいかないまでも、3ヶ月前と比較すると若干上向いてきているのではと感じます。お客様の多くは、消費に対して消極的な姿勢を取っている方々がまだまだ多いのではと考えます。	
	不動産業	例年この時期の来客数は少ないので、特別な変化はない。	
	サービス業(広告業)	広告出稿量は、相変わらず伸びてこない。	
雇用	求人広告	求人募集の案件があっても、一回の掲載で採用になる事が多い。求人案件が少ないので集中して応募が有るのは当たり前なのか。	
	就職相談員	3ヶ月前と求人企業数を比較すると100.2%と微増です。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	お客様の買い物の一回の単位が少なくなっている。
		コンビニエンスストア	お客様が衝動買いをしにくくなっていること、お金を使う時と使わない時、使う場所・使わない場所を明確にしてきているのではないかと思うので。
		割烹料理店	どの仕事の人も、仕事が少なくなってきた。仕事の内容が充実していないなどの声が聞かれる。
		都市型ホテル	現在総会の時期ですが、昨年の同時期と比べると人数の減少や食事料金の単価も下がっている。また、あまり景気の良い話はない。ご家族での利用などや、会社接待等での利用が減っている。
		タクシー運転手	営業回数を平均すると、やや悪くなっている様子。
		ドライブイン	客数や客単価ともに前年度を下回っている状況にあり、減少傾向となっている。
		ドライブイン	3ヶ月前(3月)は借景園(観光)が一年で一番多忙な時期でしたので、比べることは難しいのですが、見所が少ない分低くなり、景気はやや低くなります。
		観光名所	前年同時期で若干のマイナス推移。天候不順の影響もあるかも?
		ゴルフ場	ゴルフ場産業の景気回復には、まだ時間がかかるものと思料されます。当倶楽部においても、全体の来場者数が19.8%と大幅な減少、中でもビジター来場者数は23.3%も減少する厳しいものとなっている。
企業	製造業(印刷・同関連業)	売上げが少々減っているため。	
	運輸業(道路貨物運送業)	3ヶ月前は年度末の忙しさはあったとしても、較べると全体的に貨物の動きが良くない。	
雇用	人材派遣業	契約終了があり、売上が下がった。	
	公共職業安定所	3ヶ月前と比較して、新規求人数は7.2%減少しており、一方で新規求職者は、28.4%の増加となり、その結果有効求人倍率は、0.41倍と過去最低水準となっている。	
悪くなっている	家計	タクシー運転手	12・1・2月は、対前年並みの売り上げだったが、3月になってからの落ち込みが大きい。
		タクシー運転手	ゴールデンウィーク・大型連休や企業の休日で利用者激減。乗務員も退職する者も増えてきた。前年同月10%減。
		ボウリング場	来場者数が減少している。
企業	製造業(印刷・同関連業)	受注が減少している為。	
	製造業(窯業・土石製品)	受注件数・受注額、ともに減少している。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	鹿嶋コンビナートで毎年実施されている定期修理メンテナンスに関わっている人の規模が昨年比で多い様子です。企業の業績も上向き傾向であり、雇用の活性化でやや景気も良くなっていると感じます。	
		洋食食堂	前年比をクリアできる月が出て来た。	
		割烹料理店	例年この時期は忙しくないが、今年に限っては予約も順調に入り、初めて来店するお客さんも増えて来たように思う。	
		日本料理店	接待での客足はあまり変わらないが、個人で使ってくれるお客様が増えたように思える。	
		理・美容店	季節が暖かくなったのもあるが、多少は景気は上向きなのか？？と思う。あと、お客様も少し節約離れしたように見える。	
		理・美容店	必要最低限のサービスよりややプラスアルファ的な内容を求めているように感じます。	
	企業	製造業（化学工業）	アジア向けの輸出を中心に出荷量は維持出来ており、タイト感からか、徐々にではあるが原料値上がり分の価格転嫁も出来ている。	
		製造業（鉄鋼業）	生産も改善傾向であり、最悪の状況を脱しつつある。	
		建設業	私は一般住宅建材販売業です。アルミサッシ住器、内装建具、エクステリア着工件数が少し増えて来ました。そしてエコポイント商品、ガラス内窓に営業で力を入れております。	
		サービス業	営業活動を行っている中で、引合件数が増加している。	
	雇用	人材派遣業	さし当たって良くなっているとは思いませんが、特に鹿嶋コンビナート近辺の動きから見ますと鉄鋼関係が良くなっている模様ですが、化学部門が今一步の感じです。	
	変わらない	家計	商店街代表者	この時期神宮に訪れる観光客は前年より増えていると聞かすが、消費には直接結びつかない。
			スーパー	日替わり商品、目玉商品に集中している。全品10%割引デーなどでも効果なし。とにかく安い物だけ！！が多い。
自動車販売店			景気は良くないままで何年も変わらない。	
小売業（酒類）			客数は変わらないが、一品単価が下がっている。	
衣料品販売店			客数に変わりがないため。	
そば処			お客様が低コストの物を注文しています。以前は1各のお客様が二品を注文する事が多かったのですが、今は一品の注文が多い。	
タクシー運転手			3ヶ月前より少なくなっている。	
タクシー運転手			失われた意欲が戻らない。	
タクシー運転手			売上げは3ヶ月前と変わらない。	
ドライブイン			4月より天候不順が続いたため、農産物への影響が目立った。観光シーズンになっても大きな期待を持つことは難しい。	
弁当・総菜店			地方の景気は前回と比較してもまだまだ良くなっていないと思う。	
ゴルフ練習場			お客様の入場者数は増えているが、客単価が減少している模様。	
住宅販売会社			銀行の融資基準が相変わらず厳しい。景気の悪さと繋がっていると思われる。	
住宅販売会社		住宅の予算が特に増えたなどの事がない為。		
企業		製造業（食料品）	荷の動き、又、人の動きも変わりなく悪い。	
		製造業（食料品）	売上げの低迷は相変わらず続いている、昨年より10%程度の下降を示し特に贈答品・プライダル等のは3・4年前の同時期に比べると半分になっている。別の部門でのカバーで埋める事はかなり苦戦している。	
		製造業（飼料）	出荷数量は、3ヶ月前とほぼ同じである。	
	製造業（印刷・同関連業）	変わったという実感が無い。		
	製造業（化学工業）	厚生施設の廃止や会社からのサービス廃止が検討されており、状況は変わっていないと思う。		
	運輸業（道路貨物運送業）	相対的に貨物の量（在庫）は上がって来たが、業種の貨物によりばらつきが大きい。予定した量まで行かない貨物がある。国内の消費動向は依然として悪い。		
	金融業	金融円滑化法の施行を受けて返済額軽減の相談あるものの、以前と比べて落ち着いてきている感があり、変わらず推移すると思われる。		
	保険業	依然として景気の悪い状態が続いている。		
	民間職業紹介業	当地域においては多少求人申込みが増えてきているが、求人内容からするとさほど変わらない感がある。		
	公共職業安定所	別紙「管内労働市場（平成22年5月）」の1の（6）の有効求人倍率の本年22/3・22/4・22/5を参照のこと		

	雇用	学校就職関係者	離職者対象の講座は、現在2コースが開講しているが、どちらも定員を上回る申込みがあった。このような状況は、3ヶ月前と変化は無い。
		求人開拓員	6月現在、前回に比べるとやや好転の兆しが窺える傾向に向かっていると思われる。鹿嶋コンビナート地域内の工業団地内製造業については、大企業に入っている下請け及び孫請けの会社（従業員数が5～30人程度）からの求人募集が増えて来ている。介護・福祉・医療関係については前回同様の傾向が継続中。求人有れども就職マッチングは困難。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	臨時雇用や若者の就職状況の低迷、更に就業者の給与上昇の頭打ち等、懐具合に及び先行き不安が悪循環となって地方・都市部共に景気を低下させている。
		商店街代表者	お客様の購買意欲が小さく感じられる。
		スーパー	水郷有料道路が無料になり、神栖・銚子方面へ車で向かう場合、鹿嶋市内を通らずに行ける為、潮来市からの流が少なくなった。（神栖地域は好調の情報有り）
		家電販売店	前年度のエコポイントの最終駆け込み（3月）後の反動が見られる。
		小売業（金物店）	建設工事の減少と工場関連の定期修理の減少などが原因ではないかと思えます。
		小売業（書店）	客数の伸びが無い。何か違う商材で売上を保っているようなもの。書籍自体の売上は伸び悩んでいる。
		観光型ホテル	利用者の予約数が減っているため。（宿泊者）
		タクシー運転手	全然仕事が減っている。
		クリーニング店	失業している人が身近で増えている。若い人もいる。ハローワークに行っても仕事がないようです。生活保護者もいます（増えている）。
企業	農業関係者	メロンの生育が例年に比べ著しく悪い。天候不順が影響しており、薬物・根菜類も例外ではなく、出荷計画が大きく狂ってしまい、収入が大幅に低下した。	
	不動産業	賃貸は会社関係の移動が少なくなって来たせいもあり、来客数も減少している。売買に関しても、来客数・成約が減少している。	
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	ギリシャショックなど株価の下落もあり、セール品は売れるが単価・買上点数が上がる傾向にない。また、お年寄りなどの財布の紐が厳しくなっている。
		小売業（薬品店）	かつてない不景感に驚いている。客数の減少は最低で歯止めが利かず、最低記録かもしれない。
		パチンコ店	商圏のお客様の人数が減少している為。
企業	運輸業（道路貨物運送業）	3月期末の関係で出荷量が増加した。その反動で4月より出荷量が減っている。	

(4) 県南地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	建設業	自社自身への依頼（設計、請負工事（直近の方））又は半年以後の予算取りの見積り以来が大変多くなだれ込んでいる状況です。スーパーゼネコン4社と当社の5社が設計、施工における競争見積りが今週提出、約10億円近い数値になるとと思いますが、頑張って夜通し作成に汗を流しています。その他1億円前後の見積りも複数受けていますが楽しみにしております。
やや良くなっている	家計	スーパー	高騰していた野菜の価格が安定し、野菜を含め買上点数が伸び客単価も上がってきているので、やや良くなっている。
		都市型ホテル	前月～3ヶ月前と比べると多少宴会の予約が増えて来ている。又、昨年と比べると多少売り上げが増加した。ただし、宿泊においてはまだ明るい兆しが見えない。
		住宅販売会社	集客が持ち直し、建築意欲の高いお客様が増えている。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	当社の子育て中の女子職員に聞くと子ども手当への期待は大きく、先を見越して子ども用品の買い物などを行っているようです。当社は公共事業主体なので業績が心配されましたが、22年3月期は安定した利益が計上でき、今期も厳しいとは思いますが、悲観することはないと思っております。
		不動産業	ひたち野うしく、研究学園TX関連駅等での新規住宅地の動きが良くなって来ている。旧市街地は動きが良くない。総じて賃貸・売買等平均でやや良くなっている。
雇用	人材派遣業	我々の業界は景気に左右される業界の為、我々の業績が上向いているということはクライアント様が人手を必要としていることで、景気が上向き傾向にあるといえる。	
変わらない	家計	商店街代表者	桜の開花の便りと共に景気にも多少なりとも明るさが見えるのかと願っていましたが、天候不順で特に冬の季節に逆戻りのような時期が長続きし、春物商品への消費者の購買意欲が盛り上がらなかった。
		スーパー	単価が下がっているが、点数は上がっている。
		コンビニエンスストア	工場近くの店舗、街道沿いの店舗の以前来店されていたお客様が戻らない。工場関係者、建築関係者の来店が増えてこない。
		コンビニエンスストア	客単価、買上点数に大きな変化は確認できない為。
		和食食堂	客単価が変わらないため。
		洋食食堂	相変わらず人の流れが悪く、常連客が頼みである。
		洋食食堂	予約状況が昨年と変わらず、落ち着いている。
		都市型ホテル	お客様は常に最安値を探しています。会議場が近くにありますが、国際会議なども減っているようです。
		旅行代理店	通常、申込受注のピークになるが、大きな動きがない。
		タクシー運転手	現在においても回復傾向にあると言う人はいるが、良い（景気）と話す人はいない。職種によって温度差はあるものの、全体としてはまだまだ深刻な面が残っている感じがする。
		タクシー運転手	3ヶ月間、売上も大して変わらず、お客様の利用回数も変化に乏しい為。
		ゴルフ場	ここ一年間位は大型コンペ等の組数減などが続いたが、現況も、大きな変化はない。
		ゴルフ場	通常であればこれからオンシーズンに入るにあたり予約・来場者ともに右上がりになるはずだが本年はそれが見られない。このまま予約・来場者とも上らず夏季シーズンに入ってしまうのではと、とても不安だ。
	ゲームセンター	前年比売上が若干良くなったものの依然として前年割れが続いており、回復の兆しが見えないため。また常連と呼ばれる来店頻度の高いお客様の人数も減少してきているように思われます。	
	レジャー施設	五月連休を含め客数の増加なし。茨城空港開港効果ゼロ。セブンネットだけのガイドマップではなく、より広域の観光ガイドがどうして作れないのよ？	
	建築設計事務所	今だに、仕事らしい仕事が出来ていない。	
	企業	製造業（家具・装備品）	製造は販売（工場は展示場）を持つ宗教用具を主体とした職種なので、割合に安定している。
		製造業（食料品）	身の回りに変わってくるものが感じられない。
		製造業（食料品）	依然として、不景気が続いている。
製造業（飲料）		自分の周りでは変化が見られない。	
製造業（印刷業）		来店（乗客）数が、下げ止まったように思える。	
製造業（一般機械器具）		期間社員・契約社員に対する休業措置を引き続き行っているため。	
建設業（設備工事業）		材料の出にあまり変動がない。	
運輸業（倉庫業）		荷主の工場増床により、扱い量が増えている貨物があるが、全体的に見ると出荷数が減少している。季節的商品は夏場にかけて多くなると思われるが、この先これ以外の貨物は減少傾向である。	
金融業		売上高は横ばい状況。新規企業の進出無く、不動産等の売買に伴う設備需要も依然として少ない状況。	
雇用		求人広告	少しずつ景気が回復しているようだが個人店はそのような様子は感じられない。
	公共職業安定所	3ヶ月前（3月）と比べて、求人は製造業・飲食業で増加したものの、卸売業・小売業では減少を示したことにより、やや改善はされたものの、生産調整、個人消費低迷から、厳しい状況にあると思われる。	

やや悪くなっている	学校就職関係者	職を探している方対象の訓練について、応募者数は3ヶ月前と変わりはない。応募者が減少している科もあるが、20人定員に対して100名近く応募がある科も見られる。3ヶ月前には減少するのではとの考えも多かったが、昨年同様の動きになりそうである。	
	家計	スーパー	客数と買上点数は若干伸張しているものの、一品単価が前年を下回っているため、売上が落ち込んでしまっている。
		スーパー	客数比が前年同月比で減少している上、一品単価も低いままで回復の兆しがない。
		スーパー	客数が前年割れになってきた。
		専門スーパー	一人当たりの買い上げ点数は上がっているが、客単価自体は下がり傾向にある。より安い商品の販売動向が上がってきている。
		ガソリンスタンド	特に茨城県の県南地区の市況が全国でも安売りの地域であり経営が苦しくなっている状況の為。
		寿司店	普段の市場で仲間との会話だったり、市場での売り場の人たちの会話から。AM6:40の会話（金曜日）。レジにて「今日は静かだね」「これからかネ」「こんなものだよ」「あとバラバラだよネ」とこんな感じ。他の売場見渡しても人がまばらだ。会費（組合、町会、街路灯、食品協会だったり）を集金に行くと、他の店のオーナーから「メリットがない」「余裕がない」「会を抜きたい」などと。景気のせいかな。
		タクシー運転手	またも海外の金融事情により、世界がおかしくなってきた。5月に入ってから、普段であれば連休明けより人が動き出すはずが、まったく見られない。
		タクシー運転手	中年層の夜の飲み会が減っていて、帰りのタクシーを使わない為、売上がぐんと減った。企業関係も、仕事でタクシーを使わない。
		タクシー運転手	独法のタクシー券が減った。夜の街に活気がない。
理・美容店	政権交代後の景気対策の不安に、消費にブレーキがかかっている状況。子ども手当もいつまで続くか？信用に欠けるため使わない・・・。高齢の方も、安心した老後を送れるか不安視。		
企業	農業関係者	有機栽培や特別栽培米等の付加価値に対する評価が低く、判断基準の低価格化が強くなっているように感じる。産直市を開催しても、価格が安くないとほとんど売れない。保険の加入に関しては、将来を考えると医療保険が必要であることは認識していても、掛け金の上昇に敏感であり将来よりも現在を優先する傾向が強い。定年者・高齢者は、将来に対する不安から購入に対する興味が薄く、娯楽的な食品や品物の話をしても反応が薄い。	
	製造業（窯業・土石製品）	仕事の受注量が減少している。	
	建設業（設備工事業）	見積もり依頼件数が減っている。仕事の量が減っている。	
悪くなっている	家計	タクシー運転手	TX開業時はかなりの増収になりましたが、景気低迷とともに自家用で迎えるにたり、バスを利用するお客様が増えてタクシーが動かない。
	企業	建設業	小さい会社なので全体的な判断は出来ないが、3月頃は年度末のせいもあって、当社はもとより他社もそれなりに仕事があったと思う。今は小さい工事しかなくすぐ終わってしまうので、資材の片付けやメンテナンスをしているような状況である。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	時計販売店	3ヶ月前と比べて客数、売上ともに徐々に上がっている。
		コンビニエンスストア	依然として売上は厳しいが、TVなどで情報のある商品、価値のある商品については多少値段が高くてもお客様が商品を購入するようになってきている。上記のような状況はあるものの一人当たりの購入単価は落ち続けている。しかし、来店客数といった部分については回復傾向が見られている。
		クリーニング店	衣替えで品物の点数が増加した。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	昨年暮れ以来仕事量が減少していたが、ここ少し動き始めたようです。気候も戻りつつあるので良くなるのでは。
		製造業（金属製品）	新規の引合い品、増産品が出てきている。
		製造業（電気機械器具）	製造部門の作業量増加により、人員補充の要請が増えてきた。
		不動産業	売買客が増加（単価は下がっている）している。
	雇用	人材派遣業	派遣依頼がわずかだが増えている。
		公共職業安定所	いままで求人募集を控えていた企業からの求人申込みが少しであるが、目立ってきた。
	変わらない	家計	スーパー
スーパー			個人消費については大きく変わらない。相変わらず業界内ではチラシ合戦に走っている。（デフレ合戦です）
コンビニエンスストア			夏を前にして天候・曜日によって売上の良し悪しがあり、平均するとあまり変化がない状況。客単価は若干下がっているがお客様の買い上げ点数は上がっており、個々のお客様によって買い物の仕方には多様性がある。
自動車販売店			この景気状態に慣れてしまい、悪いとは言うけれど、良さも悪さもあまり感じなくなりました。
農産物直売所			景気が回復しているわけではないので変わっていないと思います。
ガソリンスタンド			相変わらず「現金払い」のお客様の来店が減っていて、他の安いセルフ店に流れているような気がする。
鰻屋			飲食店では変化を確認出来るまでに時間がかかる。
都市型ホテル			昨年の売り上げと比較して毎月1~2割のダウンしているので現在も変わらないと思う。
旅行代理店			団体旅行の手続きが少ない。個人旅行も少ない。旅館・ホテルも空室が多いそうです。
タクシー運転手			タクシーの客数はあまり変わらない農村地帯の為。
ドライブイン			景気低迷のまま変化なし。
ゴルフ場			予約の状況にて。
ゴルフ場			ネットからの予約を含め、直前予約が増えており予約が遅くなっているが、入場者数は増えもせず減りもせず といったところである。
ゲームセンター			変化なし、好転も悪化の様子なし。
レジャー施設		相変わらず、市場では節約傾向が見られ、特にレジャーに関するお金を費やす傾向が少ない。	
理・美容店		新しいサービスを始めたり、変わった化粧品などを扱っている。お客様の反応も上々だ。	
建築設計事務所		工務店の工事受注量が増えないため、設計事務所の設計量も増えていない。	
住宅販売会社		お客様の様子や言動から、景気が上向いていると感じられるものがない。	
企業		農業関係者	・直売所での売り上げは順調、客数も増加傾向であるが、客単価が低く、売価は一定の価格を設定してある。 ・前と変わりがなく財布の紐は固い。
		製造業（食料品）	あまり変化を感じるものはない。当社の売り上げについても同様。
	製造業（食料品）	得意先、仕入先共売上状況が若干の上昇・下降を繰り返している、はっきりとした傾向がつかめない。どこの経営者も、明確な状況の把握ができないうっている為。	
	製造業（印刷・同関連業）	知人・友人を含め、どこに行っても景気のいい話は聞かれないが、それが当たり前になってしまっている。元気なのは、平日、近辺のゴルフ場に行くとき昼食時、笑顔で大きな声で話している、シニアの方達だ。でもムダなお金は使わないようだ。"シニアの人達と、子ども手当が入る家庭が貯金するようでは、景気は回復しない。どんどん使ってほしい。	
	製造業（印刷・同関連業）	相変わらず、価格の低下が続いており、歯止めがきかない感じがする。商店の閉鎖が続きデフレが収まらない感じがする。	
	製造業（化学工業）	半導体や液晶関連の顧客の需要が堅調。	
	製造業（一般機械器具）	組期がなくて、毎日が忙しい。月末に締めて見ると売り上げはよくない。又、残業はしていない。同業者は金、土、日3連休の所がある。	
	運輸業（道路貨物運送業）	製造業の受注がやや減少しているため変わらないと思う。	

	金融業	製造業等一部については在庫調整も一段落し持ち直しが見られるが、建設業においては依然として受注増加が見られず低迷している。又、当地区の求人倍率も0.29倍と依然低水準が続いている。	
	雇用	求人広告 就職相談員 求人情件が増えない。昨年と比べ、案件も落ち込んでいる。 求人件数が相変わらず少ない。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	・例年に比べ、夏物衣料品の出足が非常に悪い。 ・特に高額品（大物）が出ない。 ・政治が不安定なので買わない。
		家電販売店	昨年の5月15日より始まったエコポイント需要により、昨年の5月以降エコポイント対象商品が売れており、その反動が今年来てしまっている。エコポイント対象商品台数が前年割れの状況。
		和食食堂	客単価が減少している。
		和食食堂	3月・4月は歓送迎会などで予約も多かったが、5月は毎年のことで連休が多くお客様が少なく、6月も梅雨の時期でお客様の出入りが少なく、また天候不順で野菜など材料の高騰などで今月の方が低調なので。
		ビジネスホテル	地域的な状況として、人の動き、物の動きが大変鈍く厳しい状況である。設備投資等も低調である。
		タクシー運転手	乗客が、更に減少している様に思う。
		理・美容店	同業者間では売上減が続いているとのこと。原因として、業者の高齢化、若い人のカットメニューについて行けない、旧態依然の店舗、客を引きつけることが出来ない、自助努力もせず営業してきたつげである。
企業	農業関係者	天候不順が続いたため、野菜や果実の不作が現在も見られる。	
雇用	学校就職関係者	生徒の就職活動において、内定先の企業が長期の帰休をしており、今後も続きそうである。また、ある製造業では、事業を継続していくために、赤字を覚悟で仕事を受注しなければならない状況であるという。そのため、景気はやや悪くなっていると感じる。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	①客単価が下がった。 ②お客様はより安いものを求めている。
		タクシー運転手	毎年、連休明けはタクシーの動きが悪くなる傾向があるが、今年は例年に増して動きが悪い。朝の一時以外は、1~2時間待ちである。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	問い合わせ、見積もり依頼が少なくなっています。又、夕方5時以降の電話も以前に比べて少なく、得意先へ発注のお願いをしても、逆に「当社が仕事をもらいたくないだよ」と言われることが何社かありました。
	企業	建設業	景気が非常に悪いし、政治は政権獲得に意識が集中している気がする。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	商店街代表者	本年は沖合で暖流の張出しが強くなるとわれ、茨城全体の小型曳網船は豊漁、巻網船はサバ漁・真鯛漁に大いに期待が持てます。これ等が実現すれば茨城の水産界は好転すると思ひ、①の良くなっている、と考えられます。
やや良くなっている	家計	スナック	本当に少しずつですが、去年よりもお客様が来店して下さる回数が増えたり、会社等での飲食の回数も増えてる様にお聞きしてるからです。
		観光型ホテル	6月からの鮎の解禁と夏休みが重なり、多少の経済効果を期待できるのではないかと。
		タクシー運転手	色んな面で少し上向いている気がする。
	企業	林業関係者	市場価格に変動は見られないと思うが、環境税・加速化基金事業等仕事が増え、良くなるのではないかとと思われる。
		製造業（電気機械器具）	製品の生産量が引き続き増加する見込みのため。
		製造業（電気機械器具）	上期後半に輸出案件が少しではあるがアップしている。
		運輸業	建設機械企業の生産状況は回復してきており、港の荷受量も増えてきているように感じる。
雇用	運輸附带サービス業	メーカー発注の地域分野が、輸出（中国向）が増加するため、梱包材の付加価値が高くなる。	
	学校就業関係者	就職活動が始まるので、その結果を見ての判断になるのですが、増えそうな傾向にある。	
変わらない	家計	商店街代表者	将来に対する好条件がない。
		スーパー	良くなる要素がない。
		スーパー	良くなって欲しいのですが変わらないと思います。1点単価減少傾向、点数少し増加でやっと現状維持。
		コンビニエンスストア	子ども手当の支給も開始されるが、直近の政局の変化から消費への刺激とはならないと思われる。しかし、厳しい状況の中で消費が右肩下がりになるとは考えられず、最低限の消費は現状と変わらず推移すると思う。
		コンビニエンスストア	売上の視点からは改善も見られますが、雇用状況などは相変わらずであり、今後についても大きな改善は見込まれないため。特に土木関係の方からは「仕事がない」という声が聞かれています。
		衣料品販売店	良くも悪くも3ヶ月先では変わらないでしょう。
		自動車販売店	景気が良くなる要素もないし、これ以上悪くなるとも思えない。
		小売業（燃料）	変化の要因がないように思える。
		小売業（酒類）	酒販小売業に大変厳しい状況。健康面考えアルコール飲料控えめのお客様が多い。
		小売業（靴製品）	良くなる兆しはない。
		レストラン	しばらく平行線でのいるのでは？
		和食食堂	このまま寒暖の差が続く様ならあまり変わらないと思う。数年前にもこのような気候の時があったが、その時も落ち込んだ。そば粉の高騰も有り、やりくりが大変だ。
		旅行代理店	3ヵ月後の受注（特に職場旅行）でも様子を見ているお客様が多い。
		タクシー運転手	過去3ヶ月は、1日売上げが3000円程上がったが、この3ヶ月はこのペースで上がる事は難しく、また、下がることもないのでと思われるため。
		タクシー運転手	悪い景気がそのまま、変わらない。
		ドライブイン	要因が見当たらない。
		ゴルフ場	今後3ヶ月の予約実績が非常に悪い。
		ボウリング場	良くなる要因が見当たらない。
		レジャー施設	「良い」「悪い」を判断するに足る材料が見当たらない。ゆえに現状維持か。
		ゴルフ場	7月以降の予約状況は必ずしも良いとは言えない状況であり、景気は現状維持と見る。今後についても、更なるコストパフォーマンスの向上が求められる。
住宅販売会社	まだ様子伺いをしているところが感じられる。		
企業	製造業（一般機械器具）	公共工事他の今後の方向性が不透明のため。	
	製造業（電気機械器具）	受注の取れる見通しが不透明。	
	製造業（電気機械器具）	参議院選挙の結果がどうなるかで景気の先行きも変わってくると思う。3ヶ月先の景気は全然見えないです。	
	情報通信（情報サービス業）	良くなる事を期待するが、良くなる様な事が見当たらない。	
	不動産業	政府の景気浮揚策も見えず、国際的な金融不安もあり、明るい材料が見当たらない。	

雇用	公共職業安定所	産業別で見ると、医療・福祉業の求人が依然として、人手不足の補充として申込が多い。主たる製造業については、対前年と比較すると25.5%の増加であったが、求人全体の12%程度であり、派遣・請負・パートの求人の割合が多いことから、景気回復のテンポは引き続き緩慢と考える。	
	求人開拓員	自動車部品事業所からの内職が出てきたが、継続していくのか不明感があるのであと3ヶ月の様子を見る必要があります。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	消費税の動向。
		金物・荒物・建築資材	取引先でリストラの話を聞く。
		小売業（水産物）	・客単価の減少。 ・特売商品のみ購入で、あまり他の商品に対するの購買意欲が見受けられない。
		観光型ホテル	ボーナスの動向が良くないので消費は鈍いと考えます。
		観光型ホテル	宿泊予約については、前年同期並に予約が入っているが、日帰り利用の予約については前年同期よりも落込みが見られる。今後の予約状況にもよるが、やや悪くなっていると見込んでいる。
		ゴルフ場	1：7～9月の予約の入り方は、6月1日時点で対前年比。下降線をたどっている、極めて厳しい状況にある。 2：予算計画費
		クリーニング店	景気の良い話はほとんど無く、当社においても客数・客単価ともに減少している。
	企業	製造業（製缶）	取引先より原価低減要求の出ている製品がある。原材料が値上がり傾向にある。
		製造業（電気機械器具）	主要取引先の計画が急激にダウンする。それを補う仕事が取れていない現状から判断し、やや悪い方向（または悪い方向に進む可能性もある）に向かうものと思われる。
		製造業（電気機械器具）	回復する材料がない。
製造業（輸送用機械器具）		10月以降国内エコカー税制停止に加え、トヨタ・日産等が確実に減産に入る計画であるため作業量の減少は避けられず。又、欧州ユーロの為替変動によってカーメーカーの部品現調化が加速し景気二番底がやってくるものと推測される。	
金融業		地元企業の半導体関連の下請け先に受注の持ち直しが見られる一方、円高による発注先の海外シフトは続いており、下請け先の受注に影響が発生している。地元企業の事業内容により明暗が分かれている状況が見られる。	
雇用	求人広告	レジャー客も減り、悪くなってくるだろう。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	手持ち受注している金額が昨年度より少ない。
		製造業（電気機械器具）	良くなる要因が見当たらない。引き続き経費の抑制を行う必要がある。
	企業	建設業	競争は更に激しくなっている。原材料の値上がりなどもあり、先行きは非常に暗い。

(2) 県央地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	商店街代表者	数日前、景気の底は2009年3月だったとの報道があったが、事実とはともかくとしてこのような話題からも少しずつは回復傾向にあるのかと感じる。
		百貨店, 総合スーパー	徐々にではあるが、商品の質と価格に納得して購入されるケースが増え始めてきた為。
		家電販売店	エコポイントが今年いっぱいなので物は動くと思う。ローンよりも現金で買う人が多いので皆現金は持っていると思う。必要な物はすぐ買える状況だと思う。
		自動車販売店	一番大きいのは国の補助事業等の政策により需要の掘り起こしになっていることだと思います。お客様のエコカー（ハイブリッド、電気）への関心が高まり、買い替えが進んでいる。”
		都市型ホテル	今後の受注ベースと比較すると前年よりは、予約が入っている為です。
		タクシー運転手	例年暑い時期に（6月から）なると、夜の動きが出て来る。節約志向は変わらないかも？
		ドライブイン	3ヶ月後（9月）は、園内での萩祭などもあり、また旅行（秋のシーズン）を迎えますので、少し良くなります。
		住宅販売会社	希望的観測も多少含まれるが、底から脱したと思われるので、多少は良くなっているのではないかと。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	参院選後の余波があるものと予想されるので。
		製造業（金属製品）	秋口から首都圏の大型プロジェクトが数多く動き出し、上位ファブリーケーターに仕事が増えれば、下請けや協力業者にも仕事の流れてくる。また受注競争も若干緩和されると思う。
		製造業（精密機械器具）	3月と4月に出荷を開始した新製品が評価され、そのデモ依頼や引き合い状況が好調の為。
		情報通信業（情報サービス業）	徹底した経費削減や在庫調整などが一段落し、控えていた設備投資の復活が期待される。しかし、多額の投資が見込めるのは一部の企業に限られ、一層激化する価格競争は、損益面に大きな影響が出る懸念がある。私たち同業者は、現在、価格面において厳しい環境下にあるが、市場の活性化が期待できる顧客談もあることから、やや良くなってくると判断した。
		サービス業（コンサルタント業）	前期の好調を今月に入っても維持している店が多く、今後3ヶ月もその傾向が続くと思われる。ワールドカップや子ども手当など昨年はなかったものが増えたので、全体的にプラスに働く。
	変わらない	家計	商店街代表者
百貨店, 総合スーパー			来店客数は若干増加傾向で推移しているものの、来店客単価は逆に減少傾向で推移しており、結果として売上高は前年同等になっている為、今後も同様に推移すると思われるので、景気はあまり変わらないと思われる。
スーパー			良くなりそうな気がしていたが・・・今日現在としては政治面（総理）含めて不安定要素が大きく正直分からない。
スーパー			政治不安があり、先行きは不透明。参議院選挙で変化はあるかもしれない。
スーパー			今年は冷夏の予測なので、暑くなれば消費は伸びるが、涼しいと景気は良くならない。
スーパー			全体（各業態）の景気が回復しないと、小売の数値に反映されないと思う。
コンビニエンスストア			3ヶ月という短いスパンで景気が大きく変動するとは思えない。
農産物直売所			ブランド牛肉・飲料部門が低調、食品も買い上げ点数が伸びない為。
専門スーパー			気候の変動が激しそう、冷夏の予想が出ている。
専門スーパー			夏の天候、気温次第と思えるが、この夏は天候不順との話もあるので、小売業としては、厳しいのではないかと考える。まだまだ、一点単価が上がって行かない。
レストラン			業界により若干ずつ違うようだが、良くなってきたという話は聞かない。
レストラン			外部的な要因では大きな変化・変動は見込めない。
都市型ホテル			予約状況を見ても昨年同時期と比べ少ない状況。今後すぐに回復するとは思えない。
観光型ホテル			ほぼ例年並みと予測するも、天候による影響が大きい時期なので安心は出来ない。
旅行代理店		旅行業は景気影響を受けるのは半年から1年後と遅れる傾向にあるため。	
タクシー運転手		良くなる要因も思い当たらない。仕事も減少がみ。	
観光名所		予約状況は例年並で推移、その他目立った動きは見られない。	
ゴルフ場		予約状況に伸びが見られず、このままの状態が続くように思われる。	
レジャー施設		特に、問い合わせ件数も増えないし、今後廃止を検討しているような相談も特にないため。	
レジャー施設		遠方への入場者も増えているので、今後も悪くはならないと思うが、レジャーには、より安価な施設を採る傾向は見受けられるので、景気はあまり変わらないと思う。	
建築設計事務所	良くなる要因が見つからない。		
農業関係者	原油高により、肥料などの高止まりが続くと予想され、景気は変わらない。		

企業	製造業(一般機械器具)	当社の場合、設備関連の仕事の為、もう少し時間がかかると思う。客先(建機)関連、現在80%ほどまで生産が戻って来たとか9月からはリーマン以前よりも伸ばすとか。遠くに光が見えるかな!	
	塗装業	専門工事での公共事業はほとんど無く、耐震関係も昨年度前倒しで随分進んだ為、大型工事は見込み無し状況。所得が上がらない為個人の工事も控える方向にあり、低価格工事のパンフレットも目立つ。	
	運輸業(道路貨物運送業)	エコカー減税・補助金やエコ住宅の新築・リフォームのポイント制度などの景気刺激策で原材料が動いて何とか現状を維持するのにか。	
	金融業	私の普段の生活環境のみで今後の景気動向を予想することは困難であると考えますが、一般的な給与所得者の夏季ボーナス状況などを見ている分では、現在の景気はしばらく続くのではないかと感じます。預金に関しても融資に関しても、3ヶ月という短いスパンでは劇的に改善されることはないと考えます。	
	不動産業	秋は企業の人事異動があるので、賃貸は多少期待が持てそう。しかし、物件賃料が下がっているので売上げとしては変わらないであろう。	
	サービス業(広告業)	使用する2~3ヶ月前に見積もり依頼がくるチラシや販促ツールなどが、相変わらず予定が出てこない。	
雇用	求人広告	求人倍率は一向に良くなるのでまだ見込めない。	
	公共職業安定所	雇用保険の受給者実人員や事業主の都合による離職者も減少傾向にあり、また、企業の雇用調整も一定落ち着きを見せている企業も出始めており、徐々に回復の兆しも見られるが、直ちに求人募集等へ反映されるものではないので、求職者にとっては厳しい状況に変わりはないと思われる。	
	求人開拓員	採用者を見てみると、非正規雇用が多い。	
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	給与が上昇したり、ボーナスが増加したりと状況が好転しない限り難しいのではないかと考えます。仮に好転しても将来的な先行きが不透明なままでは消費にお金が回らないのではないかとと思うので。
		割烹料理店	これから個人事業では伸びる可能性は少ない。
		タクシー運転手	会社も従業員も厳しい状況に来ていると思う。タクシー業界も、何か手を打つ時期に来ていると思う。
		ドライブイン	現在の状況からはプラス要素が見当たらないため、前年度の実績確保も厳しさが予想される。
企業	製造業(食料品)	天候が例年に比べ不順。季節性商品の売れ行きが期待できない。	
	雇用	人材派遣業	当面、売上が増えていく見込みがない。
学校就業関係者		天候不順が進行しそうです。即断はできませんが、どうも今年の天候が気になります。野菜の値上がりに便乗する物価の不安定は派生すると予想しております。	
悪くなっている	家計	タクシー運転手	乗客等の話で、明るい話題が聞こえてこない。
		ボウリング場	前年比ダウンの傾向がここ2年あまり続いているので、3ヶ月先に良くなるとは思えない。
企業	製造業(印刷・同関連業)	良くなる要素が見当たらない為。	
	製造業(窯業・土石製品)	建築工事も回復の気配もなく、個人消費も冷え込んでいる。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	衣料品販売店	子ども手当の支給により、多少の変化はあるかもしれない。天候によっても売上が大きく変わってくるので、暑くなる事を期待はしている。	
		日本料理店	3ヶ月前よりも徐々に良くなってきているので、このまま3ヶ月後も良くなるのではないかと考えた。	
		タクシー運転手	子ども手当が支給され、やや良くなると思う。	
		弁当・惣菜店	今後3ヶ月先の景気は今と同じか、やや良くなっているかのどちらかだと思う。	
		ゴルフ練習場	石川遼プロや女子プロの活躍で、若いプレーヤーや女子の新規の客が増加している。	
	企業	製造業（食料品）	季節柄、多少の動きが期待される。	
	雇用	人材派遣業	※期待値を込めて良くなってほしいとの思いで②にしました。私共の人材派遣業はまだまだ低迷状態で、いつ水面上にいくか予測がつきにくい状態です。	
		求人開拓員	質問2の理由に記した傾向がさらに続くものと予想されるため。	
	変わらない	家計	商店街代表者	潮来のあやめ、7月の海水浴シーズンに入るが、日帰り、ものを買わない傾向が強く消費には結びつかない。
			商店街代表者	特に奇抜的な発想・発展の可能性を感じない。
スーパー			冷夏の予想も有り、商品販売計画が縮小傾向にある。農産物の作柄も良くなく、品薄が心配（特にメロン）。	
スーパー			アルバイトの採用等の話が少なく、仕事が無いとの事です。	
コンビニエンスストア			消費景気という点では変わらないと思います。お客様の心理は、買い控えの傾向でかつ節約志向という点では、将来に対する不安から何も変わっていないと感じます。	
家電販売店			エコポイント対象となるエアコン、冷蔵庫の売上は天候に左右されそうである。	
小売業（金物店）			景気低迷と公共事業の減少	
小売業（書店）			売上の激減は無いものの、目に見える売上増も無い。	
洋食食堂			・変わらないと言うより、わからないと言う方が適切と思う。 ・当地方は日本一の農産地であるが、農産物の出来具合にも大きく左右されると思う。	
割烹料理店			コンビナートの企業相手のお客様の話では、今の時期は忙しいが、2ヶ月先の仕事が埋まっていないなど、先行きはまだ分からないような話を聞いた。	
タクシー運転手			収入の基本である売上が望めない以上、転職すれば解決しそうなものだが、転職の意欲もない。	
タクシー運転手			電話の仕事がない。	
ドライブイン			社会情勢から大きな変化や経済効果は難しいと思う。	
理・美容店			今のこの景気は、今がMAXのように思えて仕方ない。どの党が政権を握ったところで、以前のような景気が戻るとは思えない。3ヵ月先も良くなっているとは思えないし、また悪くなってほしくはない。	
理・美容店			今後、景気が良くなるようなことはあってもいきなり良くなったりはしないと思います。	
クリーニング店		このままの状態で行くと思います。会社が忙しくない、起爆剤がない。デフレなので利益が少ないので、人を頼めない。		
住宅販売会社		政権が代わっても、結局何も変わらなかった。今後も大きな変化は望めない。		
住宅販売会社		政治などを見ていると特に景気対策での良い対策が感じられない。		
企業		製造業（食料品）	物を作っても売れない時期が続き、今度は値下げ競争の傾向が顕著に見えて来ています。品質を高め、競争の無いオンリーワンの開発を進めたが、他社がすぐに近似品を出して来ます。限り無く挑戦の続く事と思える。	
		製造業（印刷・同関連業）	良くなるとも悪くなるとも思える予感がない。	
	製造業（化学工業）	引き続き経費の削減、会社としての不要資産の洗出などが行われている。状況は変わらないと思う。		
	製造業（化学工業）	アジア特に中国の市況次第という側面はあるも、当面は今の状況が続くと思われる。		
	製造業（鉄鋼業）	原材料価格の高騰など、製品価格の安定まで時間がかかりそう。		
	運輸業（道路貨物運送業）	政治の混乱が続き、夏の参院選がある。この時期に経済活動が活発化する事はない。在庫を抑え、物流費に無駄が決して無い様各メーカーは考えるはず。		
	運輸業（道路貨物運送業）	現段階では状況がはっきりしない。		
	金融業	中小企業にとって、先行きの見通しは依然として不透明であり、積極的な設備投資も特に見られないことから、変わらず推移すると思われる。		
	保険業	建設業に従事している人が多い地区で仕事が減っている。		
	不動産業	季節が夏に向かう中、レジャーの事を考える時期となり、賃貸の移動・新築が見込まれない。		
雇用	民間職業紹介業	日本経済及び政治の不安定さにおける影響を考えると、好転するにはまだまだと考える。		
	公共職業安定所	当該有効求人倍率が同数値で推移するものと判断される。		

やや悪くなっている		学校就職関係者	今月末からの求人受付等により判断できるが、現段階では予想がつかない。
	家計	商店街代表者	アジアの中で先駆けて産業国に成功して来た日本は政治経済の舵取りの上で良い資質を持ち、匙加減一つで国際的にもモデル国家となれる多くの条件が揃っていると思います。が、しかし現在は原油の高騰などが一次産業である農業の肥料代の高値、漁船の燃料代にも波及し、今暫くは消費景気の底上げには時間を要するでしょう。
		自動車販売店	自分の仕事も含め、お客さんの話からも考えてみて。
		観光型ホテル	利用者の予約数が減っているため。(宿泊者)
		タクシー運転手	今、神栖市は工場が定修に入っている為、東京から営業マンが来るのが少ないから、売上げが少ない。
		パチンコ店	現状の状況から景気の回復は見込めない為。
	企業	農業関係者	気象庁の今後3ヶ月予報で判断する限り、イネの生育に悪影響が出ることが考えられる。幸い気温の予報は平年並～高いとなっているため、大きな打撃は避けることが出来ると思われる。
		製造業(飼料)	口蹄疫の問題で、出荷数量が減少する可能性があると共に、畜産物の価格が下がっており、全体的には利益減少傾向にある。
		建設業	住宅着工件数が増えてくると思います。
		サービス業	ようやく景気回復の兆しが見えてきたものの、海外の金融不安の影響が懸念され、先行も不透明である。
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	小売業では、価値あるものは値段が高くても売れているが、全体に買い上げ点数が上がるとは思えない。
		小売業(薬品店)	消費税を始めとする増税は消費者の購買意欲を減少させると思う。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	建設業	前項の物件が1つでも決まったら大変だと思う。今年(7月より)保育園、印刷工場など設計込みの依頼がダブルで、注文があると思います。現在取引しているドイツの会社では最高の売上を伸ばしているとのこと耐震設計が完了したら、数十億円の受注につながるものと思います。野球ブランドの工事もやるそうであります。景気の見通しが立って来たものと思います。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	店側の積極的な品揃え、オススメ行為に対してのお客様の反応に変化は出始めており、価値を感じる商品、サービスに対しては対価を払うようになり始めている為。	
		和食食堂	総理が代わって期待。	
		洋食食堂	4月にやむなく長期休暇をとり(父やスタッフの入院)過去最悪の状況であったため、今後期待せざるを得ない。	
		レジャー施設	わずかであるが舟運に対する関心の高まりを旅行業者等の話より感じる。	
		住宅販売会社	住宅エコポイントや金利の低下など、今が建て時と考えるお客が増えているため。	
	企業	製造業(窯業・土石製品)	鳩山政権が菅政権に代わり、ここ不安定感があった政治が、国民の期待感も含め腰の入った政治ができると思います。今年度の予算が実施され、参議院選後来年度の編成方針が発表になれば、方向感のはっきりしてくるので景気には良い影響が出ると思います。	
		金融業	子ども手当の支給に伴い購買意欲が高まれば、消費資金増加により景気が良くなる可能性がある。	
	雇用	人材派遣業	現状より依頼数が増えている為。	
	変わらない	家計	商店街代表者	家庭への収入(夏季手当)も見込めない中、政府の決定により子ども手当が支給され、自然と財布の紐も緩み多少なりとも消費支出に回れば良いのですが。今後の教育費の事もあるでしょうが、預金されずに消費に向かうのであれば景気の停滞も緩和されるので期待したい。
			スーパー	子ども手当の支給で一部影響があると思われるが、その他に景気回復の材料が見つからないので変わらないと考えられる。
スーパー			一品単価の回復が見込めないため、同じ水準を保つと予想される。	
スーパー			青果物の相場次第だが、良くなる要素はない。	
コンビニエンスストア			お客様からの情報で、工場での生産の拡大や、人員の補充などの話がない。公共事業も増える様子がない。	
専門スーパー			景気が底を脱したとか、景気が上向いてきたとか報道されているが、まだまだ末端まで浸透するまでには、時間がかかると思う。当分は、現状維持の状態が続くと思われる。	
ガソリンスタンド			質問2でも答えたように多分全国平均の安値地区は変わらないと思うので、絶対に良くならない。	
洋食食堂			そんなに変わらないと思う。悪くはならないような気がする。良くもならない、なんとなく落ち着いてやっていけるような感じがする。景気の話がお客様の間では出ません。	
寿司店			政治の混迷がそのまま景気を狂わすと思う。	
旅行代理店			質問2と同じ。	
タクシー運転手			現時点で社会の変動、大きく変わらなければ何の変化もない	
タクシー運転手			参院選後も同様の状態が続くだろうから。	
タクシー運転手			人員削減による仕事の分担が増えたとの声が多く聞かれる現状からして、経費削減に重きを置かざるを得ない。レストランの一環であり、良くなるのはまだ遠いと思う。	
タクシー運転手			需要の増加傾向は特に無く、大口取引の得意先も特に変化の兆しが見受けられない為。	
ゴルフ場			質問2で回答したが、コンペ等の組数に減少はあっても大幅な増加は見込めない。	
ゴルフ場		4月~6月の最もゴルフに適した時期にも思った程上向にならず7月~の比較的敬遠される暑い時期に入ってしまう感じがする。		
ゲームセンター		売上回復のためにプレイ料金を引き下げたりしていますが、それでも前年売上を毎月下回っています。現状では季節変動以外での売上増加は見込めません。		
理・美容店		政治が揺らぐ参院選まで今の不安は続くであろう。仕分けの成果が国民や地域の人にどう反映されてくるのか、そのことが不安にもなっている。		
建築設計事務所		ここ一年を通して、全く変化がないので、期待できない。		
企業		農業関係者	水稻生産者は、戸別所得補償により生産費の補償がされたことになるが、農作物の買い叩きにより所得の向上は望めないような状況である。21年産米の在庫が22年産米の販売に大きく影響することも加えてかなり厳しい状況で、生産者と販売業者の間に居る卸業者の収益にも大きく関係すると思われる。残業の削減やこれまで認められた費用の削減。また、業務の進め方に対しての見直しが強く要望されるようになって来ている。	
	製造業(食料品)	景気が変動する要因は見当たらない。		
	製造業(食料品)	特に、景気が良くなる要素が無いのでこのままの活気が無い状態が続くと思います。		
	製造業(飲料)	現在、良くなる悪くなるいずれかの要因がない。		

	製造業（窯業・土石製品）	参院選を控え、首相の辞任など政局の不安定。	
	製造業（一般機械器具）	現在、特に景気の良くなる材料が見当たらないため。	
	建設業（設備工事業）	現在の状況維持と思う。	
	運輸業（倉庫業）	季節的商品以外、動きは例年と変わらないため。	
	不動産業	やや上向いた上記の状態と変わらないと思う、スポット別に良い地域と悪い地域などの二極化が更に進むと思う。	
雇用	求人広告	もう少し回復しなければ変わらない。	
	公共職業安定所	景気に変動が見られ、安定型とは言えない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	客数減の状況が今後も続くと思われま。
		スーパー	3か月のトレンドから判断して数字は厳しくなるだろうと予測。また政治的不安定が懸念される為、景気回復は遅れると思われる。
		都市型ホテル	現在の予約状況を見る限りでは動きがあまりなく、夏の暑い時期も影響し売り上げはあまり伸びないように思われる。
		タクシー運転手	ヨーロッパ周辺のおかしな事情があと数件出て来て異常な円高がまた進み、ガソリンは間違いなく今より2割は上がっているはずで、良い事は1つも無い。
悪くなっている	企業	製造業（家具・装飾品）	売上の数は変わらないが、売上単価が下り気味である。
		製造業（印刷業）	夏場に向けて官庁のお客様から一般企業及び個人のお客様に売上がシフトする為、客単価が下がる見込みである。
		建設業	今よりはいくらか工事量が増えるだろうが、公共工事も昨年より発注額が少ないだろうし、民間工事も、今の政治状況ではみんな財布のヒモを締めて、建設工事にお金を出してくるようには思えない。政治が安定しなければ、景気回復は期待できない。
		建設業（設備工事業）	問い合わせ等も含めて、購買意欲の減少を感じる。
悪くなっている	雇用	学校就職関係者	学院生の就職状況はかなり厳しく、今後も好転は見込まれない。当学院のいずれの科についても昨年よりも厳しく今後応募者が増える見込みは無く、非常に厳しい年になりそうである。昨年の出足と比べても鈍く、景気が好転する気配は見られない。
		家計	タクシー運転手

(5) 県西地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	政治が少し安定し、経済が良くなっていると思う（希望する）。	
		コンビニエンスストア	子ども手当やボーナスなどお金の入る人、機会が増え、一番身近な食品などについては財布の紐も緩むのではないかと。また、多くの人が少ない収入の中での生活の仕方を身につけつつあり、今以上に現在の景気の中では悪くならないのではないかと。	
		コンビニエンスストア	お客様の商品を買うときの基準は厳しくなっているが、質と価格のバランスの取れた商品がお客様に認知されてきている為。つまり多くのお客様に支持される商品が消費を底上げする。	
		ガソリンスタンド	子ども手当が出るようになれば、多少、主婦の方などの購買力が上がると予想する。	
		タクシー運転手	6月度より、子ども手当の支給・実施、自動車業界等の景気回復基調にあるため、多少は良くなると思う。	
		理・美容店	私の店舗では女性客が多く、接客には常に心掛けています。絶えず客の立場になって自己の店を考えている。我々の業態も昔とは違って種々と変わってきている。親より継承した家業をもっとよくしたいと思っている。お客様あつてのサロンをモットーに頑張っている。5月も右肩上がりの売上となった。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	前述のように春から夏に向けてのことなので今後はこのまま進展するような気がします。	
		製造業（窯業・土石製品）	今が「底」だと思います。お客様が「仕事」「受注」を持っていません。だから、期待を込めて「今よりはやや良くなっている」と回答したいと致します。	
		製造業（金属製品）	質問2に関連し、受注量が増える可能性がある。	
		金融業	今後については、輸出関連の企業業績持ち直しにより徐々に回復が見られると史料致します。又、現政権のもと子ども手当・高校授業料の無料化の政策による消費効果等も徐々に期待されます。	
		不動産業	単価は安いものの契約数が増えている。	
	雇用	公共職業安定所	雇用調整として休業を実施している企業が多く存在しているが以前と比べて休業日数が減ってきている。	
	変わらない	家計	商店街代表者	①良くなる条件が見つからない。 ②鳩山さんが降板したが、どのお客様も「誰がなっても変わらないよね」と言われる。
			商店街代表者	景気の先行きが不透明で不安は拭いきれない状態が続くと思われる。お客様の消費行動も価格志向に変化はないと思う。
			時計販売店	売上は3ヶ月前から比べると上がっているが、客単価は依然として厳しい傾向があるため。
			家電販売店	・政府の子ども手当などの支給もあるが、景気回復までには至っていない。 ・家電については、今後3ヶ月季節指数が上がりますので天候・気温によって売上が左右されやすい。
			農産物直売所	問2同様で変わらないと思います。
			和食食堂	景気が悪いのは変わらないが、ある意味安定しているようだ。
和食食堂			6月よりは多少良くなると思うが、景気の方がまだ回復しておらず期待できないので変わらないと思う。	
都市型ホテル			良くなることを期待したいが、短期の回復は、現在の予約状況を見る限り変わらないと思う。	
ビジネスホテル			・中小の製造業はまだまだ厳しい状況が続いており、回復基調とは感じられない。 ・設備投資や新規の出店など新しい動きがない。	
タクシー運転手			依然として、節約志向が見受けられる。首都圏への通勤客の帰宅時間のピークが以前より1~2時間早くなっている。	
タクシー運転手			今のままでは先が見えないと思う。	
ドライブイン			政治不安の状態が改善される見込みはなく、大きな変化は見られない様に思う。	
ゴルフ場			予約の状況にて。	
ゲームセンター			変化を与えるような話がない。	
レジャー施設			交通手段や道路状況が良くなってきているが、その影響を受けるには少々時間がかかると思われる。	
建築設計事務所		工務店等受注先の状況から見て、先々の予定ははっきりしていないので、3ヶ月くらいでは上向きにならないと思う。		
住宅販売会社		9月くらいまでは、この状況が続くと思われる。		
農業関係者		農業関係者	4月の低温や天候不良で野菜や果実の交配が悪く、今後の販売に影響すると思われる。	
	農業関係者	・天候不順により1~5月までの販売単価は安定していた。各生産者は貯蓄傾向に向いている。 ・子ども手当を定積貯金にまわす人が多く、子どもの将来に向けた蓄えをする方向である。 ・3か月後も大きな消費変更は見られないので変わらない。		
	製造業（食料品）	変化の兆しがない。		

企業	製造業（食料品）	現在の売上状況の推移からして、はっきりとした傾向がつかめない為、賃金の上昇が難しい為。又、取引先からも同様の話を聞いているので。	
	製造業（印刷・同関連業）	将来に不安を感じるから貯金する。外食を控えて、家庭でなるべく食べる。これでは、「お金」が回転しない。若い人達が車にも乗らなくなったようだ。国内の車販売台数も落ち込んでいるようだ。リースで小さい車（燃費を考えてかな！）に乗っているみたい。車ばかりでなく、価値観が変わってきたかな。景気対策を考える国のリーダー出現を期待したいね。	
	製造業（印刷・同関連業）	業界が良くなるとか地域が発展するとかの要素もまったく見当たらない。iPad等のモバイル機器は書物の電子化を進め、確実に紙・印刷分野の衰退を招くだろうし、高度経済成長を期に進出してきた企業の撤退は、地域の経済を衰退させている。	
	製造業（化学工業）	半導体や液晶関連の顧客の需要が堅調。PC、携帯に加えiPadも景気を支える要因。	
	製造業（一般機械器具）	ここ何ヶ月は締めると売上はやや同じ。自動車関係の治工具は平均して仕事はある。しかし安い。菓子関係は発注担当が変わったので（そして（システム）も売上が落ちた。	
	製造業（電気機械器具）	長期に亘った展望把握が出来ず、人員補充も短期的なものが多い。	
雇用	人材派遣業	得意先様の中で活況な業種が見当たらない。	
	求人広告	3ヶ月先も求人案件は増えそうもない。夏の短期も現状の人で動こうとしている。	
	就職相談員	新規求人は契約社員（期間限定）と派遣が大半である。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	子ども手当の支給面でプラス面が多いが、政治面及び経済面（株価、為替相場、ギリシャ問題など）で不安定要素が多いので、消費者の財布の紐はまだ固いと見ます。
		自動車販売店	総理大臣も辞任したので景気不透明であり、政治不信もあり、やや悪くなっていると思う。
		鰻屋	現在の売上げから判断しました。
		タクシー運転手	8月・9月に近くの工業団地で2会社が撤退するなどがある為。
		ゴルフ場	予約状況は相変わらず、只、7月の選挙の影響が懸念される。
		理・美容店	近くの工業団地の閉鎖が続いているので響いてくると思う。
		クリーニング店	衣替えが落ち着くか？天候不順（陽気不安定）が多く感じられるため。
企業	建設業	民間の設備投資が無いし、元気のある会社が無い気がします。	
雇用	学校就職関係者	求人票の受付期間であるが、企業からの問い合わせがほとんど無く、昨年よりも動きが悪いと感じる。9月からの生徒の就職活動も、厳しい買い手市場が予想される。	
悪くなっている	家計	旅行代理店	3ヶ月後は8月になる。2月・8月は、今まで景気悪いので、良くなるとは思えない。今年は、このまま行こう。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	良い傾向として、外食の入りが増加していると思う。全体的な底上げが見られる。特に近辺ではファミリーレストラン系が見直されている。ランチタイム・アイドルタイム・ディナータイム平均して客の入りは増加。逆にファーストフード系苦戦。SMの動きとは違う。
	コンビニエンスストア	・スーパー等の値下げ商品数や値下げ幅が小さくなっており、デフレ対策の傾向が見られる。 ・絶対価格の高い業態ではデフレ傾向は依然強いが、逆にCVSやスーパー等の単価の低い業態では、価格への意識は弱くなってきている。
	コンビニエンスストア	最近取り扱いとなった「電子タバコ」の販売が好調です。秋のタバコ価格引き上げに対して、収入が増えない分、禁煙・節煙を考えている方が多いことが伺えます。タバコ代分が他の物の消費に回ると良いのですが。
	衣料品販売店	以前よりまして本当に必要でないものは買わなくなってきた。
	金物・荒物・建築資材	夜の飲食店に客が少ない。いつもの年と流れが変わっているのかも。
	小売業（水産物）	記念硬貨や2000円札が精算時に多く出てきている。安価商品の購買意欲が強い。
	小売業（靴製品）	高齢者の来店客が目立つ。安物を買うが、説明すると単価の上がるような客も居る。
	レストラン	良くなる事を祈るばかりです。自分で守るしかないと思う。
	居酒屋	来店客が少ない。
	スナック	新車を見る機会が増えた様な気がします（エコカーが多い）。
	和食食堂	先月ですか、暖かい日続きでしたね。そう云う時が大変で売り上げが落ちるのです。何年前かに「タイ米」と云うのが有りました。あの時出前で、天ぷらうどん1つライス4つという注文があった事を思い出します。
	観光型ホテル	日本の政治が不安定なためと、経済も良くないというのが広がっているため。皆様自衛というか、自己防衛に走っている感じです。
	観光型ホテル	茨城空港の経済効果は、この辺ではあまり期待できそうにもないようです。
	タクシー運転手	参院選があるが、最近は大きな変化は期待できない。
	タクシー運転手	この3ヶ月、地元企業に、特に変わった動きは聞いておりません。私のタクシー運転手は、周りの景気に大きく影響する業種なので、地元企業に頑張っていただきたいと願うばかりです。
	タクシー運転手	週末に少しづつだが人の動きが良くなっている気がします。
	ゴルフ場	茨城空港開設以来、韓国のエージェントからの問い合わせが多いが、不透明な部分が多く対応、実施には及んでいない。
	ゴルフ場	1：来場者の65歳以上が30%を超えている。天候によりプレー断念者が多くなる。 2：料金の割引き100円単位で動いている。 3：6月8日 関東女子の対策で、来場者に勢いがついている。 4：7月は、国政不安と参議院選で予断を許さない。
	レジャー施設	無料券（優待券）の回収率が若干伸びている。配布数が増えている訳ではないので、良い材料とはいえない。
	住宅販売会社	前回調査時に比べて閉塞感は感じられなくなったが、景気のいい話は聞かえてこない。
企業	林業関係者	出口対策として、乾燥施策、木材市場が秋口できるので期待が持てるのではないかと！
	水産業関係者	陸上産業が不景気なのか、高級魚が通常の3分の1程度にしか売れません。又、総体的にも魚価額となり、食物を通して不景気感が伝わります。最近水揚げが活発だった大鯛は史上最低の値で取引されました。
	製造業（精密機器）	発注側の状況が、あまり良くないところもある。
	製造業（製缶）	自動車関連は作業量が増加しているとの話はあるが、重電関連は作業量が減少している。
	製造業（電気機械器具）	景気について明るい話題が聞かえてこない。
	製造業（電気機械器具）	「鋼材の値上げ」：製造業は定期的に発生する値上げにより、加工費が圧迫されてきた。またその値上げが身近に迫ってきている。その影響は鋼材を使用する購入品費にまで及ぶので、景気に与える影響は大である。
	製造業（電気機械器具）	消費や設備投資の数値が改善していると報道されているが、全然実感がない。
	製造業（電気機械器具）	最近更に、親会社が中国からの部品調達の動きが活発化している。
	運輸業	徐々に増えてきていると思うのですが、お客先や、商工会等会合で話を聞いてみると皆口をそろえるように「仕事がない」と嘆いています。2～3年前のピーク時の印象からそういった感想が出るものと思います。ピーク時から考えれば確かにまだ5～6分かな・・・と思います。
	金融業	地元企業において、接待関係の自粛ムードが高まってきており、市内の飲食業者が影響を受け始めている状況にある。住宅ローンについて、昨年度より申し込みが増加傾向にあり、住宅の買い控えに改善が見られる。
	不動産業	マンションに関しては在庫調整が進んだのか、堅調に推移している。大手マンションデベの状況は不振の中、地元デベの信用度が上がっているのか？
	運輸附带サービス	輸送部内において、製品の輸送手段がトラック輸送からJRコンテナに切り替わっている傾向にある。（環境と金額面が理由と考えられる。）荷扱いは受注増の傾向にある。
	学校就業関係者	景気に関しては良くなっているのですが、失業者に関してはあまり、改善されているようにはみれない。

求人開拓員

景気対策の事業には、多数の応募者が来てもらえるので、事業者は適任者を選べると喜んでいますが、それだけ、失業者が多くいて、まだまだ景気回復とは云えません。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	商品の価格について、以前より、多くの方がシビアになっている。商品評価の基準において価格が大きな割合になっていると思う。
	百貨店, 総合スーパー	最近、紳士物(靴、バッグ)が好調に推移し、高額品や婦人物(ハンドバッグ)は低調に推移している。
	百貨店, 総合スーパー	まだまだ厳しい状況であるが、生活防衛にも疲れが見え始めたのか、欲しいものへの購入意欲が強くなってきていると思う。
	スーパー	お客様の購入単価は伸び悩んでいると思います。必要な物だけ購入、節約志向、安い商品を求めているのではないかと?
	スーパー	天候不良の関係で、農作物の価格幅がある。又、口蹄疫の関係で畜肉の流通がない。
	スーパー	総理が菅さんに代わったので、少し良くなるのではと期待している。
	コンビニエンスストア	特に大きな動きは見られません。
	コンビニエンスストア	・飲みに行く回数が減った。(お金を使わなくなっている?) ・タバコの値上げに向けて禁煙する人が増えている。 ・夜の街に活気がない??
	農産物直売所	メロンのギフトを買いに来られるのは60歳以上の年齢層。若い方は少ない。
	専門スーパー	今年も「食の安全」「節約」などの点から、家庭菜園が多く、野菜苗の動向が良い。節約志向なのか、相変わらず修理依頼が多い。(2~3年前であれば買い換えていた)
	レストラン	会社関係のご利用より個人(家族)でのご利用が多くなってきていると思う。
	割烹料理店	特徴的な動きはありませんが、皆さん何とかせねばとは考えているのです。
	都市型ホテル	首相が代わりどの様になるのか期待と不安がある。ボーナスの時期でもあるが、下がる話などを耳にする。
	観光型ホテル	エリアによるポテンシャルの違いや季節に寄る波動が与えるインパクトが大きくなりつつあるような気がする。
	旅行代理店	大手旅行業者の決算が出揃ったが、赤字が目立っている。またJALの破綻による影響も受けている。
	タクシー運転手	最近市街地の活気がない。
	タクシー運転手	このままでは、将来が不安である。
	タクシー運転手	茨城空港までのお客様が多少出てきたか?
	タクシー運転手	桜田門外の変のタクシー乗り場待機場を作ったが、利用者がいない。水戸市・茨城県で何かお客様の呼べる催しがあればよい。
	観光名所	最近顧客から作品収集をやめる旨のお手紙をいただきました。経済の状況(株や土地等)も好転せず、年齢も高齢になってきた為とありました。高額商品の動きが鈍い現状を垣間見た気がします。
	ボウリング場	用品(ボール、シューズ等)の買控えが起きている。
	カラオケ店	しばらくはパッとしない状況が続く、と数字から見て予想している。
	レジャー施設	今年は天気が良く、遠足などの団体はもとより、GWの個人客も屋外の施設利用に流れてしまった。このため、屋内施設の入場者は減少してしまっているが、総体的にはレジャーの減少はないと思う。
理・美容店	夏以後は悪くなると思います。お店の閉店・廃業した人が急に増えました。以前は貸家、貸しビルの店の閉店でしたが、自宅持の店も廃業などで閉店しています。私もいつ閉店するかなあと考えをしました。	
建築設計事務所	雑用が多く本来の仕事は薄い傾向にある。	
企業	農業関係者	子ども手当の支給により、巷で話題が盛り上がっている。
	製造業(食料品)	大型店のリニューアルetc実施されているものの、客数増につながっていない。
	製造業(印刷・同関連業)	久しぶりに都銀さんが続けて営業に見えた。
	製造業(一般機械器具)	夜、タクシーに乗りました、大工町から自宅まで。運転中、1日中頑張っても20000の売上が出来ない、半分給料としてもやって行けないとか、社長は燃料代が出ないから早く帰してくれとか!どんどん悪くなるばかりではないでしょうか
	製造業(精密機械器具)	弊社の製品修理担当者は、全国を巡回します。その担当者の話によれば、弊社のお客様で、新工場建築を着工している会社が幾つかあるとの事です。よって、わが社の関係する業種の景気は上向き傾向と思われれます。
	運輸業(道路貨物運送業)	地元産の野菜、有機野菜などを売り物にしている店がはやっているようである。
	情報通信業(情報サービス業)	企業や家庭から、インターネットによる用品調達の声が開こえてくる。あらゆる商品が対象とされており、店頭に行かずして、品質のチェックや価格を自由に選べる利便性は、卸や小売の在り方を大きく変えてしまうのではないかと。

	金融業	私の住んでいる地域にあるスーパーでは、最近肉や魚などの生鮮食品の安売りセールを頻繁に行っているようです。昨今では衣料品業界における価格競争の激化に伴う慢性的なデフレが懸念されていますが、今後は食品関連産業でも値下げがどんどんと進行していくのでしょうか。消費者の観点に立てば出費が抑えられることは望ましい限りですが、社会全体の景気で判断すると手放しで喜べるかどうかは疑問が残るところです。
	不動産業	とにかく「値下げ」が多く、賃貸物件の値崩れが激しい。売却を考えるオーナーが増えている。
	サービス業（コンサルタント業）	水戸市の中心市街地においては、飲食店や雑貨店の撤退があったものの、同じだけの新規出店も見られた。凍結されていたマンション開発が始動するなどヒトやモノの動きが出てきた。
雇用	求人広告	どの分野にとっても資格者の求人が多くなっている。でも、資格者の求人案件は採用率が悪い。
	学校就業関係者	家庭暖房用燃料が不要となる季節を迎え、自動車のガソリンの高値傾向にも免疫ができたようで、物価高に鈍感になっているように観察されます。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	私共も消費者にも参加を呼び掛けて、公民館広場を利用して毎月フリーマーケットやイルミネーション祭り、招待事業など街の活性化に努力しており、近隣の町もそれなりに行ってますが、日本の様な成熟社会になりますと、凡ゆる産業に於ける知的財産の留保も大切です。低開発国へ生産のノウハウを教えることも良いですが、其の国の賃金に関わりなく無関税輸入を続けてきてしまったことが、空洞化不況の最大要因でもあり、地場産業の悪影響にもなっております。
	商店街代表者	事業を廃止する経営者が目立ち、会員の減少は止まらない。鹿嶋地区は企業関係の定期修理があり、民宿などに宿泊の需要があった。
	商店街代表者	時折飲食店に行ったりもするが、非常に閑散としており店主が困っている様子。
	スーパー	潮来の有料道路が無料になり、その為神栖方面に集中している所へショッピングに出かける様になっています。
	コンビニエンスストア	お客様が節約に飽き始めている事が感じられます。安い物がTOP売筋である事には変わりはありませんが、その中でも、比較的高単価ですが、価値さえあれば販売上位にくるという印象が一方ではあります。
	コンビニエンスストア	給料日前と後の消費動向が非常に格差があり、大きいのが特徴。
	家電量販店	大型家電の単価ダウンが目立っている。
	自動車販売店	とにかく、仕事が見つからない人が多いと思う。
	小売業(酒店)	同業他社で閉店している店舗がある。
	小売業(金物店)	埠頭工事が始まった事。
	小売業(書店)	アルバイト募集の広告を出すより以前より応募が多数あった。働き口が減っているのだろうか。広告業者も掲載する企業が減ってしまい、嘆いていた。
	洋食食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・やっと夜の来店客数が増え出した。 ・旧市内の老舗の閉店が続いている。シャッターを下ろしたお店より開店しているお店の方が少ない現状である。 ・時代の流れはもちろんだが、更なる自己革新・創意・工夫・学びの心をおろそかにすれば、明日は我が身と思う。
	割烹料理店	エコカー減税の影響か、車を取り替える話や、新しい車が多く走っているように思う。車に関しては、結構売れているように思う。
	日本料理店	カードでの支払いが多くなってきているので、まだまだお金の使い方がシビアなのではないかと思われる。
	タクシー運転手	今度総理が代われれば良くなると思っている。期待している。
	ドライブイン	3月に茨城空港が開港したものの経済効果が感じられない。
	パチンコ店	お客様の数が明らかに減少している。
	理・美容店	サービス業を営む人間のサイドから別のサービス業を見てみると、たとえ安くても基本的な部分がダメだとお客様は足を運んでくれなくなるということが感じられます。高くてもいいものではなくて、そこそこリーズナブルでしかもいいものを求めていると思います。他店との差別化(メニューなど)、サービスの向上(接客)、適正な価格(いろんな意味で高いと感じさせない)
	クリーニング店	以前は、年配の人や会社を辞めさせられた人が多かったが、今は若い人が自宅待機している。土曜日は、日本人は休みで中国人は出勤している。(中国人は給料が安いので)
	住宅販売会社	景気が持ち直してきたかな、と思われた頃にギリシャ不安や円高が進み、足踏み状態となってしまった。
企業	農業関係者	銚田ブランドのメロンやイチゴ、さつまいもを使用した加工食品の全国展開を活性化させている。先日、銚田市長のインタビューが新聞に掲載されたとおり、今後は海外への展開も行っていくので、二次製品の売れ行きに期待している。
	製造業(食料品)	相変わらず買控が目立つ。
	製造業(食料品)	大手企業の製品で零細企業の製造原価に近い値段で売られているのを見かける様になって来た。食品・家電・ガソリン・家具・衣服等も低価格の競争に体力の無い零細企業は持ち堪えられない状況だと思う。
	製造業(化学工業)	現在の市況が長時間継続するとは考え難く、今後一層の合理化を求められるであろうことから、人員増は望むべくもなく、少人数での効率的な業務形態を模索している。
	製造業(鉄鋼業)	消費は落ち込んでいると思う。
	建設業	太陽光発電も販売しております。茨城県でも補助金をこれから先もどんどん出してください。
	運輸業(道路貨物運送業)	物流経費効率化が一段と進む傾向にある。ちょっとした"物の流れ"の変化をアンテナを高くして、分析する事が必要である。
	金融業	金利のより低い商品への相談、特に低金利住宅ローンの借り換え相談がみられる。
	保険業	昔は近所の個人の自動車修理工場で車を買ったが、今はディーラーで買い、車検も修理もディーラーでやっていて、個人の修理屋さんが厳しくなっている。

	不動産業	会社関係が多くある中で、忙しい会社、人材を縮小している会社様々であるが、詳しい仕事内容が分からない中、この地域の活性化に期待が持てない。しかしながら、一部の建築会社（ハウスメーカー）は半年先まで忙しい旨を伺い、その手腕を知りたいと思う。
	不動産業	自動車業界からの引合受注が昨年度に比べ増加してきています。
雇用	人材派遣業	※消費購買意欲は確実に上昇傾向と見られます。その他は特にありません。
	民間職業紹介業	とにかく景気が好転しない限り、当業種においては現状大変厳しいものがある。
	求人開拓員	①本年4月に高校新卒者が正社員として採用されたにも拘らず試用期間後も実際には正社員になれないとの事を上司から言われ転職を考え、当センターへ登録し求職活動を開始した例がある。ハローワーク及び高校の就職担当教諭が純真無垢な高卒者を騙すような求人掲載及び就職斡旋に疑問を感じる。 ②4月以降、市役所からの誘導で求職活動を促され、当センターへ登録し求職活動を開始している生活保護申請受給者が急増している。従来は殆んどがリピーターで10人前後だったが、新規者及びリピーターを含め当地区センターでは毎月20人前後の相談対応に当たっている。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	工場勤務の従業員の方々の話を聞きますと、仕事量は新聞・テレビ等の報道とは逆で、現実には海外生産が増え国内の生産商品は単価の引き下げが強まり、経営者はコストの削減を口にし、経営は厳しいとの事で夏季手当も多くを望めないよう。国内大手企業と地方企業との隔たりは大きく、地方の景気回復はまだ先のように思う。
	スーパー	景気が悪く野菜の高騰があった影響なのか、野菜の苗を購入して栽培しようと言う声が良く聞かれる。
	スーパー	求人募集の広告を入れると、昨年の同時期の3~5倍の問い合わせがある。不景気を実感する。
	スーパー	子ども手当の消費を見込んでいたが、スーパーで消費するのではなく、貯金・レジャー・外食などになると予想され、スーパーマーケット（食料品）はほんの一部の人で、スーパーではあまり消費するとは考えにくい。
	スーパー	価格政策、曜日、企画等の差別化戦略も競合各社はすぐに追いつき同一化してしまう。常に新たな企画へと短いスパンでチャレンジしていかないと、この厳しい不況の中生き残れない状況が続いている。
	コンビニエンスストア	ムダな買い物はしていないが、欲しいと思う商品は値段が多少高くても買う人が多い。価値ある商品は買う。既に身の周りには壊れたり使えなくなれば買わない。良い物、長持ちする物が飽和している世の中で、物を売っていくのは難しく感じます。
	専門スーパー	クレジットカード支払いで、ボーナス一括払いが減ってきている。また、ボーナスを当てにしない支払いは増えてきている。
	ガソリンスタンド	つくば地区のマンションがなかなか売れない状況で値下がりが続いているようです。
	和食食堂	景気に関してではないかもしれませんが、自店に関してはピークタイムのずれがあるように思います。夕方や、夜の遅い時間帯に来店されることがしばしばあります。空いている時間と予測してもかもしれません。それがピークタイムに戻れば景気は良くなっていると体感できると思います。
	洋食食堂	週末及び日祭日に予約が集まり、全てこなせないのが残念である。ロケ等のケータリングや弁当も今年は他と重なり、ほとんど断っている。
	タクシー運転手	近所の焼き鳥屋さんやスナックがオープンして両店とも6ヶ月で閉店してしまい、景気の悪さを感じます。
	タクシー運転手	出費を抑える傾向がより強くなっているのでは・・・。現実の厳しさが生活スタイルを変えている様に感じる。
	ゴルフ場	政治的不安定感をお客様から耳にすることが多く、仕事の進め方（発注、受注）に一抹の不安があるようだ。
	ゴルフ場	予約が安い設定日に集中する傾向がますます強くなってきた。
	ゲームセンター	勤務している店舗裏のビデオ屋さんが閉店する等、地域周辺の状況も悪化しているように思われます。また競合する店舗もプレイ料金のダンピングを日常的に行っており、デフレ状況も進んでいるように思われます。
理・美容店	とにかく今は、無駄をなくし余裕をもって生活したいとの声。贅沢をしない、節約を極めようと思う。	
建築設計事務所	建売り住宅建設も、今までのように、活発な動きがない。	
企業	製造業（家具・装備品）	全体として木工業は停滞気味。組合員も元気がない。但し後継者の育った、各職種の方々は元気である。
	製造業（食料品）	つくば市役所の開所、新店舗の開店等、研究学園駅前にはにぎやかさがあるが、つくば市全域を見るとほとんど変わらない。
	製造業（食料品）	テナントの撤退が目立ちます。
	製造業（窯業・土石製品）	朝の通勤時の車の混み具合が、以前と比べ4月以降少しずつ大きくなっている気がします。
	製造業（窯業・土石製品）	子ども手当の支給が始まったが、消費に回るかは疑問。
	建設業	当社は創業43年となりますが、当時の取引先企業1部、2部上場会社と今でもお取引があり、しかもこの不況の中で、4月頃からジワジワと設備投資を実施される企業が増えて来ており、7月以降非常に楽しく、嬉しい状況になって来るものと思われます。しかも大型工事の設計施工となる受注なので創業以来の倍増売上に期待しております。
	建設業	周辺の小さい工務店では店じまいをしたり、1ヶ月に半分程度の仕事しかない会社は何社か出てきている。今度は当社かと思ったりする。首長が代わったため、指名入札に新しい会社が入ってきて、半値以下で落札した。公共工事もダンピングになっては小さい会社でまいてしまう。
	建設業（設備工事業）	民間の物件も成約時の金額が下がっている。役所の落札金額も下がっている。
	金融業	税金未納による調査依頼、並びに不動産差押などが増加している。
	不動産業	賃貸の供給過多による空室率が上昇し賃料デフレが起こっており、レオパレス等の保証付会社の状態が厳しくなっている。地主の5月に配布された固定資産税の納付難の為に手持物件の売却心が強くなっている。
雇用	人材派遣業	半導体関連の企業が活発だが、建設関係の動きが鈍い。
	求人広告	空港開港により、もう少し動きがあるかと思ったが無いですね・・・

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	「品質の良い物は、高い・良いもの」と頭では理解していても、なかなか素直に消費に結びつくお客様が少ない。
	商店街代表者	月2回イベントを実施しています。前回「ちょっとぜいたくに見せませんか」というテーマで高級な食品をお安く販売した。かなり販売したがイベントが終わって定価に戻ったら思ったほど売れなかった。やはり消費者の財布の紐は固い。
	スーパー	宮崎県に起こっている口蹄疫の問題が今後、食肉全体に対してどのような影響を与えるか注目に値する。(流通業界)
	コンビニエンスストア	TV、新聞、インターネットなどの情報があふれる中で、お客様の、情報の付いた商品に対する飛び付きが良くなっているように感じる。お店の中・街の中に元気な老人が増えており、売れるものも昔に比べ大きく変わってきている。
	家電販売店	・ボーナスの支給額が分からないので、支給されてから購入したいというお客様が多く、下見の方が多い傾向。
	自動車販売店	自動車業界は補助金が無くなり次第打ち切りなので、購入決断できないユーザーが出始めました。
	ガソリンスタンド	経費削減やエコの意識の高まりで、ハイブリッド車、軽自動車が多くなってきた。
	和食食堂	春先から天候が不順で稲の生育が悪いように思う。97年の米不足のようにならないか心配だ。
	都市型ホテル	企業さんの集まりがとにかく減っている。早く元気な日本になってほしい。
	旅行代理店	牛肉豚肉は、買って食べようと思わない。燃料代ガス代が上がりっぱなしであり、少しずつ値上がりしている。売上げが下がっているのに、経費は上向きである。困ったものだ。
	ビジネスホテル	エリアセールスやルートセールスの人達が少なくなってきた。どの業種の人々の動きもあまり芳しくなく地域全体のパイがしぼんでいる。
	タクシー運転手	最終電車等による乗り越しの乗客が、以前より更に減少したように思います。
	タクシー運転手	以前は、バス路線が無かった工業団地の中を、路線バスが通るようになった。
	タクシー運転手	飲食店がだいぶ閉店している所が多く見られる。
	ゲームセンター	全く景気を左右しそうな、話がない。
	レジャー施設	サービス特典に関してお客様が敏感になっており、インパクトのある特典への反応は大きい。
	理・美容店	会社が不景気なので我々の商売にも少なからず響いている。今までパーマをかけていた人もやめて、カットだけにしている人が増えている。
	建築設計事務所	特に住宅建築では、景気低迷の中でも受注量が伸びている工務店と、受注することができない工務店とがはっきりと分かれてきているように思われる。
住宅販売会社	社会的なエコへの関心の高さから、太陽光発電の補助金に対する問い合わせは多い。エコをきっかけに景気が上向くことを期待している。	
企業	農業関係者	・寅年は景気が荒れるといわれるように天候不順による農作物不作、スイカ、メロンの着花不足と良品質のものが出荷できないので、生産者の手取り減少。 ・秋の農作物に期待をしますが、天候がよければと願うものです。
	製造業(食料品)	先行き原料高の気配が感じられる。
	製造業(食料品)	取引先で、外人雇用を減らして、日本人雇用に切替え方針になった所がある。
	製造業(印刷・同関連業)	昨日、民主党の党首と幹事長が辞意を表明したね。誰が次になるのかによって、株価も景気も影響してくるけど、政治がよれ～よれ～だと、日本の将来が心配になるね。10年後、「中国に出稼ぎに行く」なんてならないためにも、政治家も平和ボケしている多くの日本人もしっかりしないとね。65年も戦争も他国とのイザコザのないのは日本だけなのだから——。沖縄の人達は先の大戦で4人に1人が犠牲になっていることを忘れてはならないよ。
	製造業(窯業・土石製品)	しばらく買い控えが続いていたので、そろそろ欲しいもの・必要なもの買いが動き出したような気がする。
	製造業(窯業・土石製品)	今、日本経済が最も必要としているのは、「仕分け」とか「財政再建」ではなく、「成長力」の回復が先決だと思う。菅政権は財政再建と成長の二兎追うならば、順番を間違えてはなりません。「経済成長戦略」が「日本再生」の原動力です。規制の無い公平・公正な競争が「成長」を生むと思います。
	製造業(金属製品)	アジア圏を中心とし、海外の部品を使用する事が年々増えている。国内製造業者のパイは更に縮小している。
	建設業	大型の店が1件工事をしているが、資本金の企業しか伸びられないかも。小売り店は未だシャッター通りである。
	不動産業	ハウスメーカーの話では各社とも住宅展示場の来店数が増えているとのことでした。
雇用	公共職業安定所	就職活動をしている方の表情が明るく見えた。就職活動も前向きになってきている。(求人も少なく、応募しても不採用の方が多い。)
	学校就職関係者	求人票の受付期間であるが、企業からの問い合わせがほとんど無く、昨年よりも動きが悪いと感じる。また、物品を購入している業者も、どんな少ない購入品でも注文が欲しいということであった。
	就職相談員	大手企業の一部で、派遣の受け入れを再開した。